

## 第三者評価結果報告書

### 【受審事業所情報】

事業所名称	放課GO→みた
運営法人名称	株式会社プロケア
サービスの種別	放課GO→
放課GO→登録人数	220名
事業所所在地	〒108-0073 東京都港区三田4-11-38
電話番号	03 - 3541 - 6768

### 【評価機関情報】

第三者評価機関名	ひょう 株式会社
評価実施期間	平成29年7月19日 ~ 平成30年1月31日
訪問評価日	平成29年11月28日
評価結果確定日	平成30年1月31日
評価者（役割）	堀田幸正 （1・2章担当） 今村和子 （3・A章担当） 臼井 淳 （1・2章担当）



## 第三者評価結果の概要

### 評価機関総合コメント

事業者としての基本理念や放課GO→運営方針に基づいた事業計画を策定しています。本部では職員の教育・研修体制が確立されており、現場では地域の特徴を生かしたプログラム等を計画しています。本部と現場が密に連携することで、「組織」として重視する点を明確にしています。

また、日頃から地域住民やPTA等を通じ地域と交流することで、災害や犯罪、事故等の際に連携できる関係づくりを実現しています。

今後も、関係機関との連携を継続・発展し、利用者の満足度をより高められるよう期待しています。

### 特に評価の高い点

地域の特徴を生かしたイベントやプログラムを開催しており、多くの子どもたちが「放課GO→に参加するのは楽しい」と感じています。

また、職員は日頃から子どもの様子を観察しており、いつもと様子が違う際は子どもへ丁寧に声を掛けるほか、保護者へ報告・相談するなど、真摯に対応しています。

本部では、このような職員を育成するために、様々なケースでの実践研修を実施するほか、子どもや保護者への接し方を指導するなど、組織全体で利用者満足度の向上を目指しています。

### 改善を求められる点

基本理念や放課GO→運営方針について、保護者への周知の機会を増やすことで理解を深められます。「放課GO→みただより」のみではなく、協議会での報告内容の概要版を作成し配布・説明するなどの取組が望まれます。

また、地域との交流活動が例年減少している傾向があります。社会的・地域的事業の変化も原因の一つだと推測されますが、地域との交流の機会をより多くすることで、馴染みのある居場所づくりを実現できます。

### 第三者評価に対する事業者のコメント

今回の評価およびアンケートでは、利用者の皆様より多くのご意見と温かいお言葉を多数いただき、大きな励みとなりました。私どもは、利用者の皆様のニーズに応えられるよう、子どもたちはもちろん、保護者の方々とのつながりを重視した運営の実現を目指しております。

ご指摘いただいた課題点①利用者の皆様に対する、施設の方針・目標の周知と幅広い広報活動、②前回評価時よりも縮小した地域の方々との交流活動、につきましては真摯に受け止め、改善に取り組んでまいります。

高い評価をいただいた点は今後も継続して力を入れていくと共に、子どもたちのニーズを捉えながらイベント企画をしていき、子どもたちが安全安心に楽しく過ごせる居場所づくりに努めてまいります。

## 放課GO→みた 保護者アンケート集計結果

学年										
全体	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答	非該当	n	
100.0	29.4	22.2	22.2	9.5	11.1	5.6	0.0		126	
126	37	28	28	12	14	7	0	0		

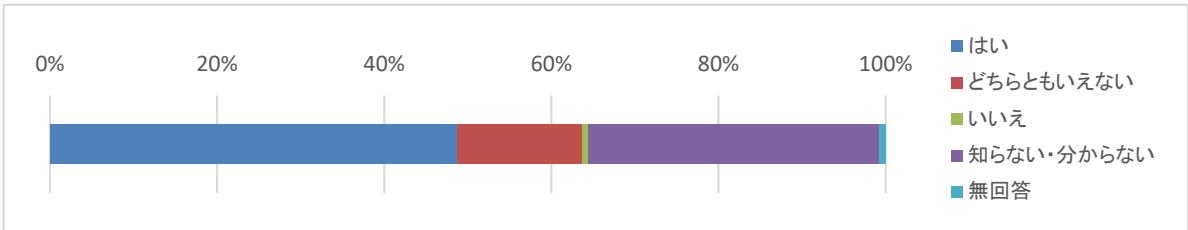
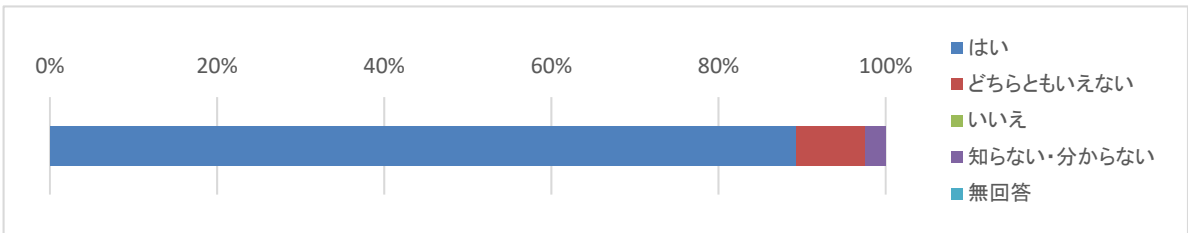
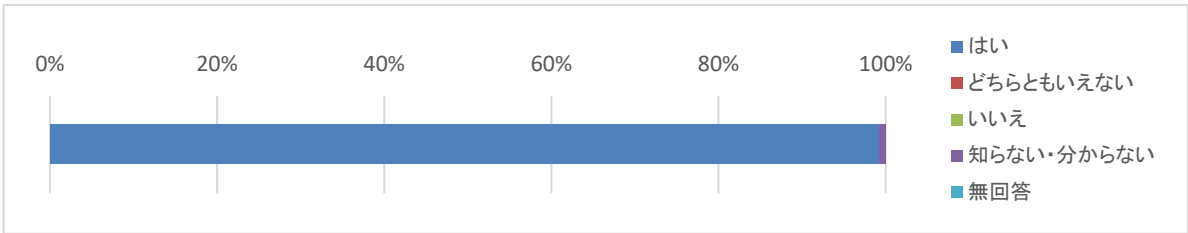
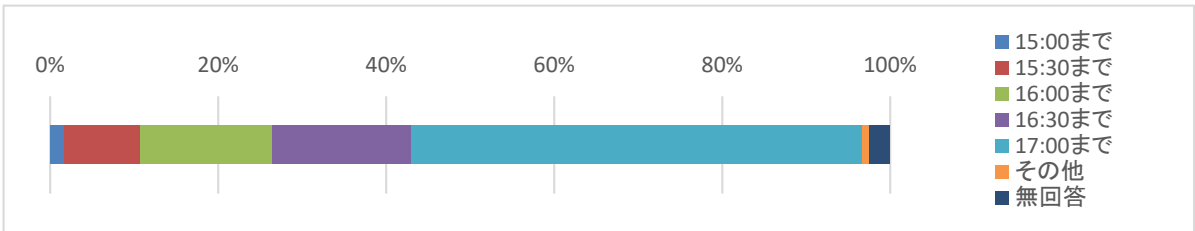
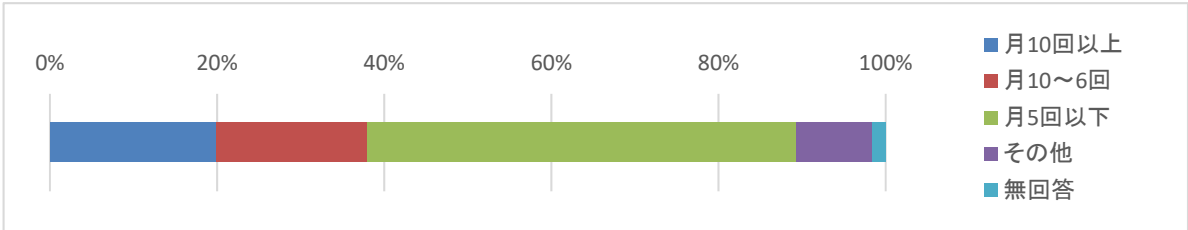
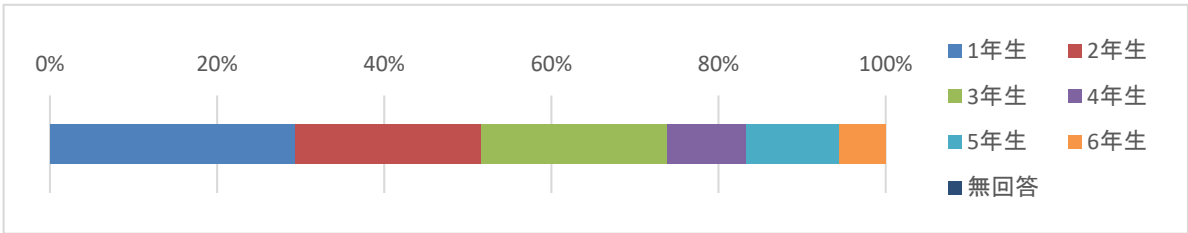
利用頻度							
全体	月10回以上	月10~6回	月5回以下	その他	無回答	非該当	n
100.0	19.8	18.2	51.2	9.1	1.7		121
121	24	22	62	11	2	0	

利用時間									
全体	15:00まで	15:30まで	16:00まで	16:30まで	17:00まで	その他	無回答	非該当	n
100.0	1.7	9.1	15.7	16.5	53.7	0.8	2.5		121
121	2	11	19	20	65	1	3	0	

問1. 利用開始の際、利用についての説明などがありましたか？							
全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	99.2	0.0	0.0	0.8	0.0		121
121	120	0	0	1	0	0	

問2. 遊ぶ際に、守るべきルールや決まりをお子さんは納得していますか？							
全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	89.3	8.3	0.0	2.5	0.0		121
121	108	10	0	3	0	0	

問3. 行事やプログラムの企画に子どもの意見が活かされていますか？							
全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	48.8	14.9	0.8	34.7	0.8		121
121	59	18	1	42	1	0	



問4. 台風、地震、火災、不審者対応等、緊急時には放課GO→の対応について連絡が入りますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	84.3	3.3	1.7	10.7	0.0		121
121	102	4	2	13	0	0	

問5. お子さんがけがや体調不良などの場合、家庭と連携をとりながら適切な対応がなされていますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	75.2	3.3	0.0	21.5	0.0		121
121	91	4	0	26	0	0	

問6. お子さんや家庭の個人情報やプライバシーに関する対応がなされていますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	74.4	2.5	0.0	23.1	0.0		121
121	90	3	0	28	0	0	

問7. お子さんは放課GO→に気軽に行くことができますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	92.6	5.8	0.8	0.8	0.0		121
121	112	7	1	1	0	0	

問8. お子さんの個性を理解しつつ、幅広い体験がおこなわれるよう適切な支援が行われていますか？

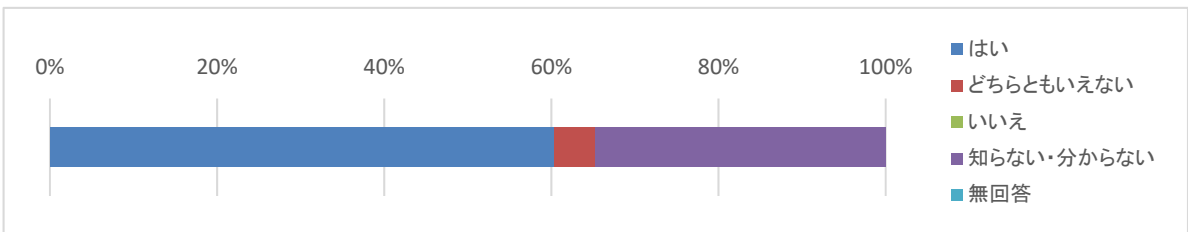
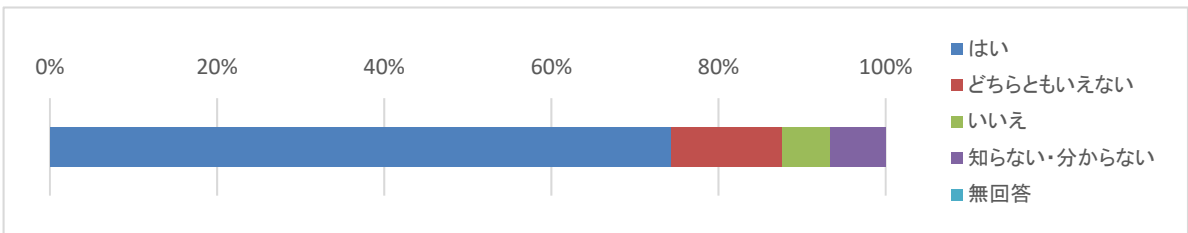
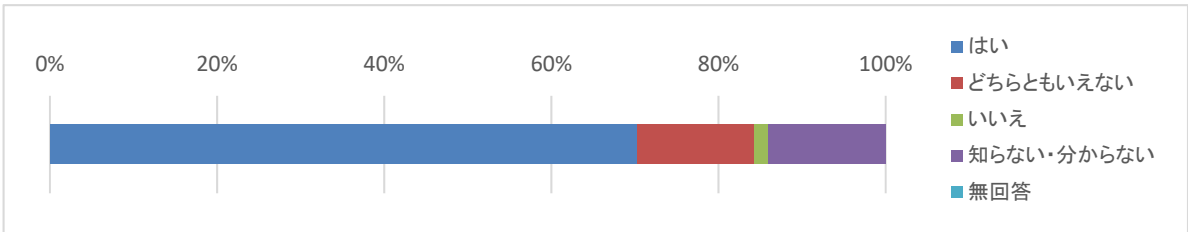
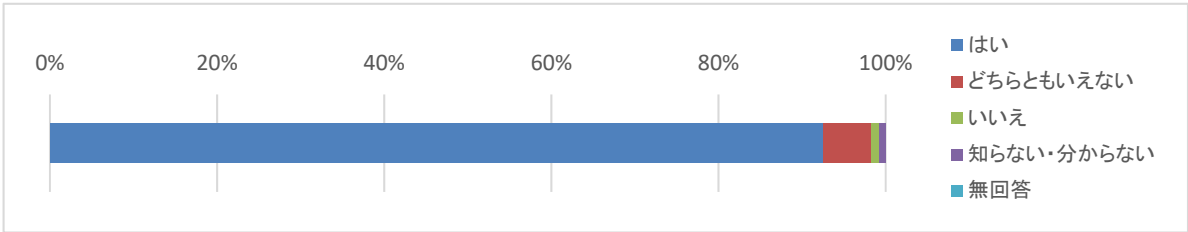
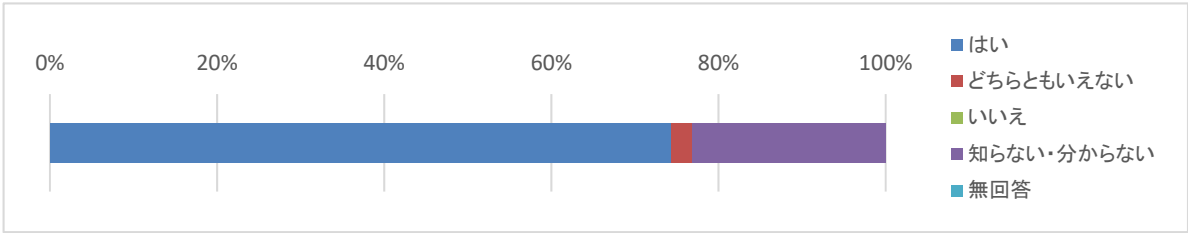
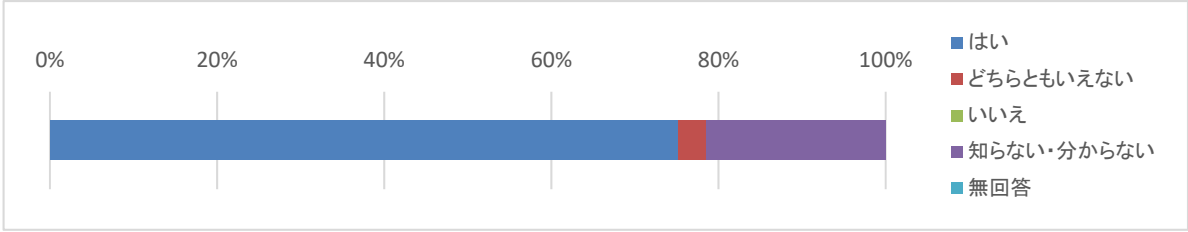
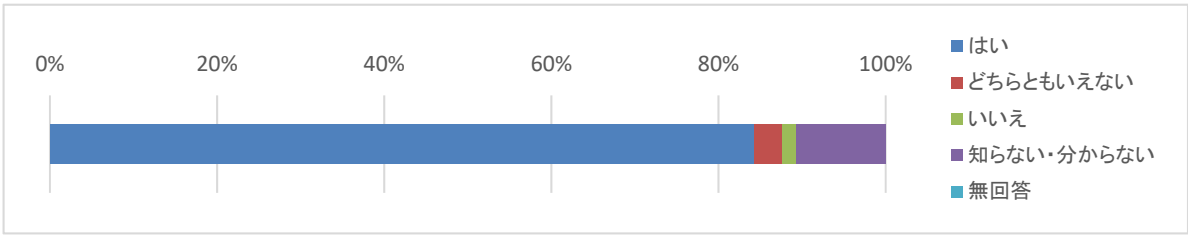
全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	70.2	14.0	1.7	14.0	0.0		121
121	85	17	2	17	0	0	

問9. お子さんは、放課GO→の時間帯、適切な外遊び（校庭遊びを含む）をする機会があると思いますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	74.4	13.2	5.8	6.6	0.0		121
121	90	16	7	8	0	0	

問10. 子供同士のトラブルがあったとき、職員は適切に対応してくれますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	60.3	5.0	0.0	34.7	0.0		121
121	73	6	0	42	0	0	



問11. 職員は仲間に入れない子供に声をかけるなどの配慮をしていますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	50.4	4.1	0.8	44.6	0.0		121
121	61	5	1	54	0	0	

問12. 新しいお友達が増えたり、友達との関係が深まったと思いますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	72.7	12.4	3.3	11.6	0.0		121
121	88	15	4	14	0	0	

問13. 異年齢との交流が充実していますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	64.5	11.6	2.5	20.7	0.8		121
121	78	14	3	25	1	0	

問14. 帰りの時間の変更や、一人帰からお迎えなどの変更を連絡した場合は、お子さんへの変更が確実に伝わっていますか。

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	80.2	0.8	0.0	18.2	0.8		121
121	97	1	0	22	1	0	

問15. お子さんの日常の様子について放課GO→と家庭との情報交換がなされていますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	63.6	19.0	5.8	10.7	0.8		121
121	77	23	7	13	1	0	

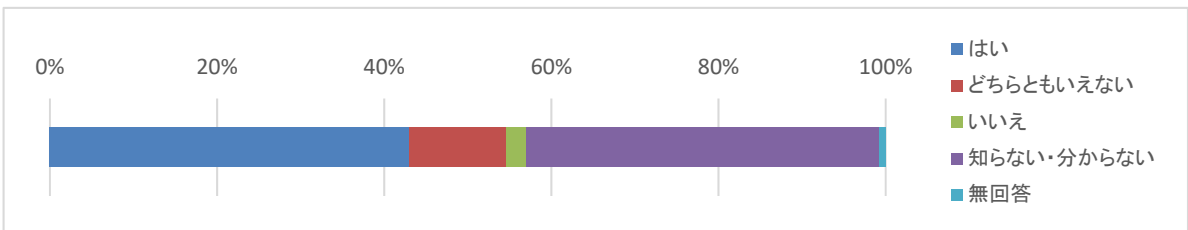
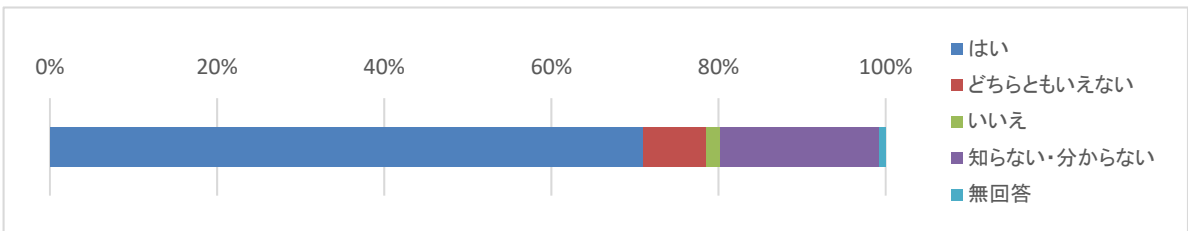
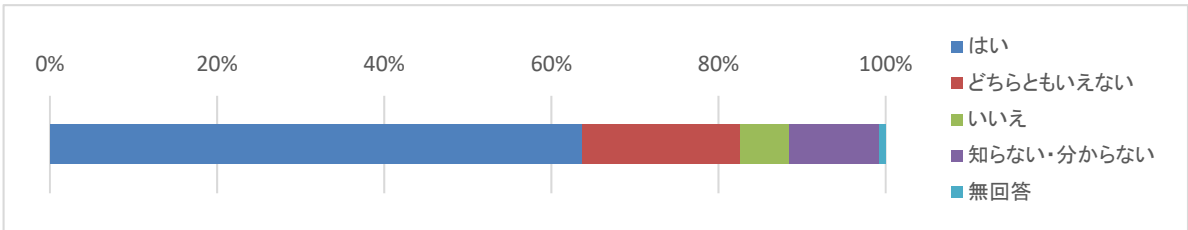
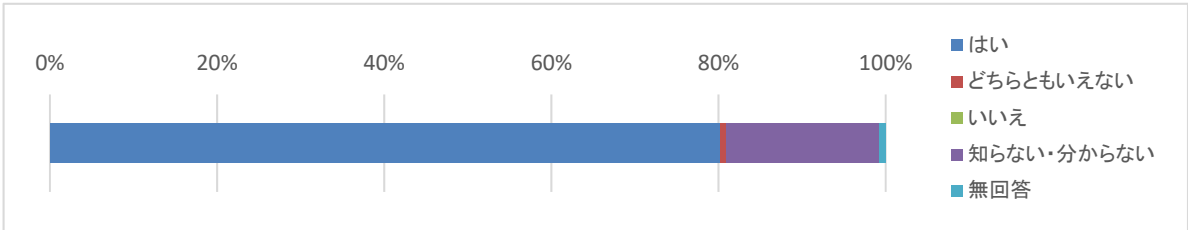
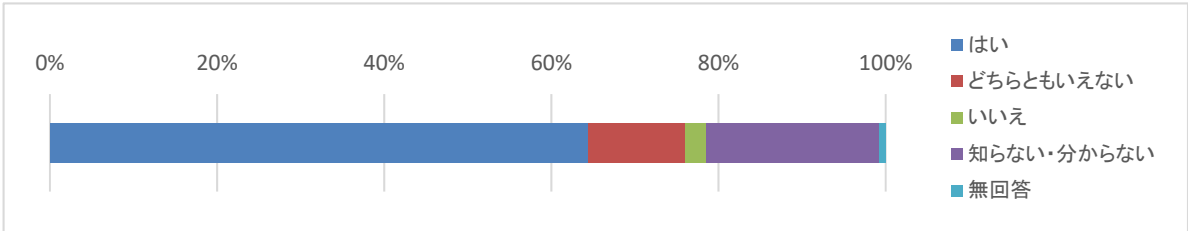
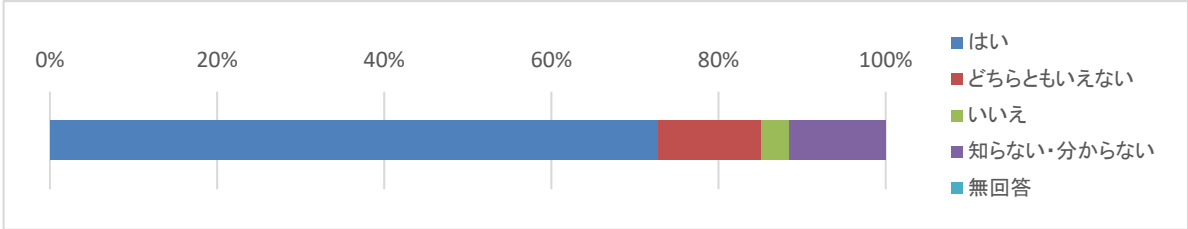
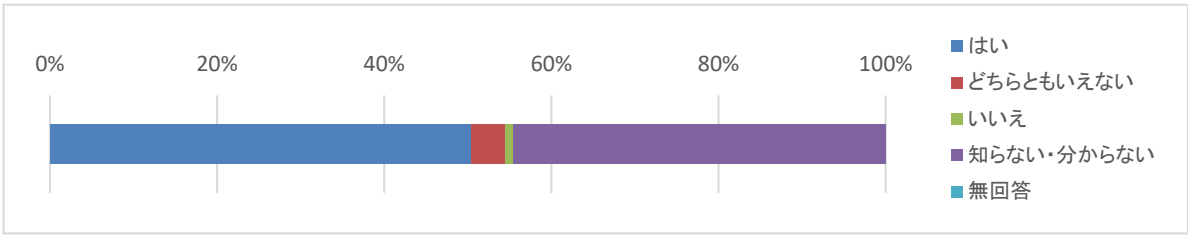
問16. 職員は個々の児童の状況を把握する努力をしていますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	71.1	7.4	1.7	19.0	0.8		121
121	86	9	2	23	1	0	

問17. 企画や運営に保護者の意向が反映される機会がありますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	43.0	11.6	2.5	42.1	0.8		121
121	52	14	3	51	1	0	





問18. 学校との連携は、うまくいっていると思いますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	71.9	7.4	0.0	19.8	0.8		121
121	87	9	0	24	1	0	

問19. 大人が気軽に立ち寄れる雰囲気がありますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	81.8	9.9	1.7	5.8	0.8		121
121	99	12	2	7	1	0	

問20. 要望・相談・苦情を言いやすい雰囲気がありますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	78.5	7.4	3.3	9.9	0.8		121
121	95	9	4	12	1	0	

問21. 要望・相談・苦情に対して適切に対応してくれますか？

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	71.1	4.1	0.8	22.3	1.7		121
121	86	5	1	27	2	0	

問22. お子さんに関する悩みなど相談できる雰囲気がありますか？

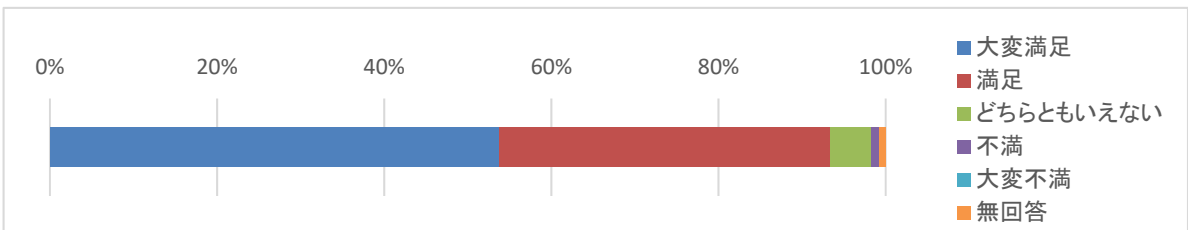
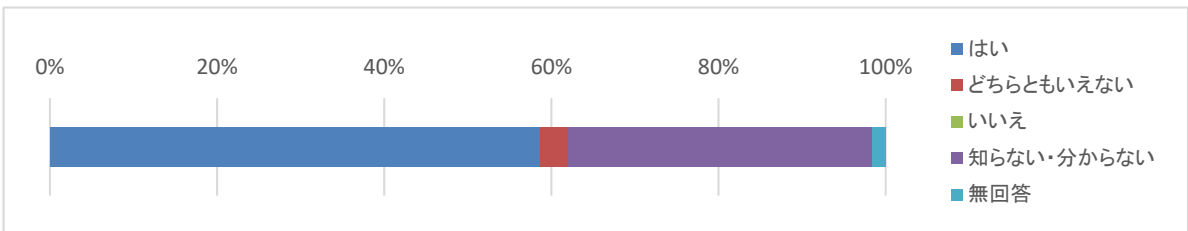
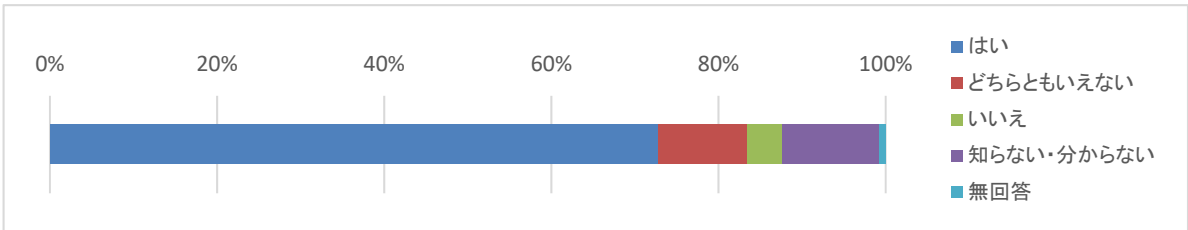
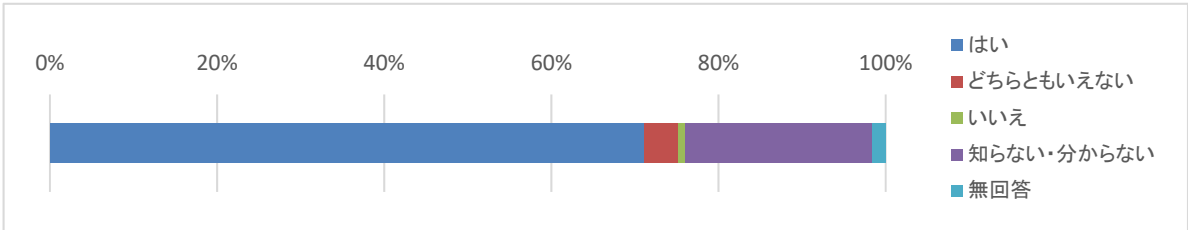
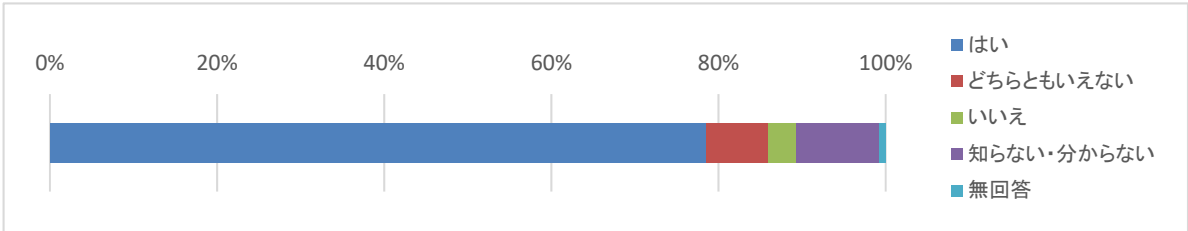
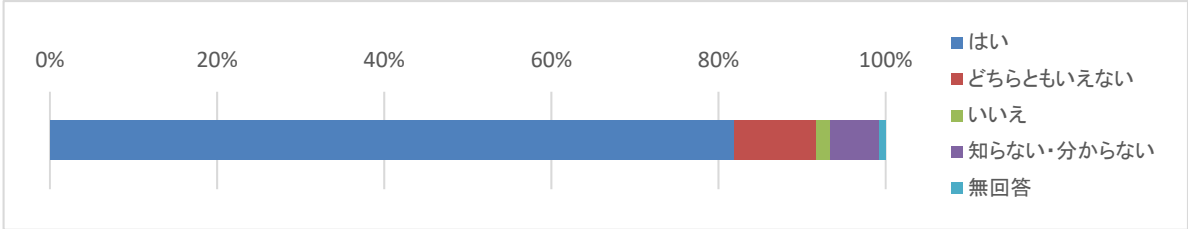
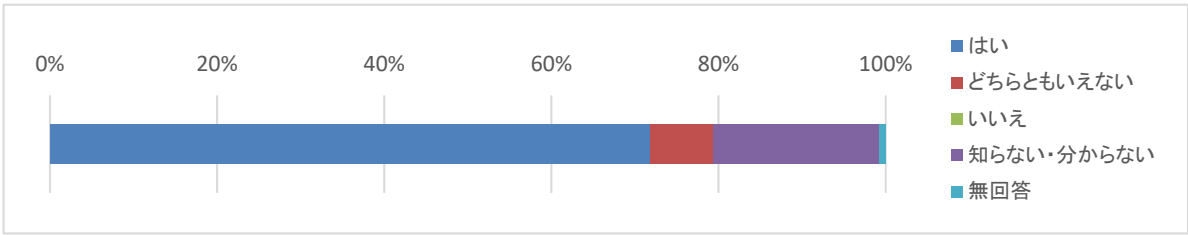
全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	72.7	10.7	4.1	11.6	0.8		121
121	88	13	5	14	1	0	

■ ご自身やお子さんが放課GO→で職員に相談したころはありますか

全体	はい	どちらともいえない	いいえ	知らない・分からない	無回答	非該当	n
100.0	58.7	3.3	0.0	36.4	1.7		121
121	71	4	0	44	2	0	

総合的な感想

全体	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答	非該当	n
100.0	53.7	39.7	5.0	0.8	0.0	0.8		121
121	65	48	6	1	0	1	0	



良いところ	
1	突然の変更などにもすぐ対応してくれ、助かってます。
2	mixAgeでイベントに参加したり、一緒に遊べる場所。
3	新しい体験（めんこ、ダンス、茶道など）のきっかけを作っていただける場所。
4	あまりお迎えに行けず、様子が変わらないことの方が多いので、大変助かっています。
5	安心して子どもを時間まで過ごさせることができ、大変ありがたく感じております。
6	安全な場所。
7	異学年で遊ぶ様で、たまにお友達の名前を姉妹で言う時があります。
8	いつでも行くことができ、よく面倒を見てくれていると思います。
9	イベントの種類が多く、親まで楽しみです。
10	いろいろなイベントの企画を考えてくれる。
11	いろいろなイベントも楽しい様で、毎月スケジュールを見て、申込みしています。
12	いろいろなイベントを企画してくださって、ありがとうございます。
13	いろんな遊びや運動でも先生が、一緒になってやってくれるので良いと思います。
14	送ってくれる場所。
15	お楽しみプログラムやイレギュラーなプログラムで、子どもの好奇心を高めてくれていて、気楽に利用しやすいので、良いと思います。
16	親としてとても信頼しています。
17	帰り時間や決まりことは、しっかり守ってくれるので、安心している。
18	学童メインのため、参加がなかなかできず、アンケートの内容が全て答えられませんでした。
19	数少ない参加ですが、良くしていただき、ありがたいです。
20	学校内で17時まで、預かってもらえる点。
21	学校内にあり、親も子どもも安心して利用できる場所は、すごく良いと思います。色々なプログラムを企画してくれて、子どもも楽しく参加していました。先生方も皆さんとても優しく、ありがたく思っています。
22	学校内にあるので安心。
23	学校の校庭を使えるのがいいと思う。
24	学校の中にあり、安全であること。
25	気軽に自由に参加できる場所、学童の他にも安全に遊ぶ場所を提供してくれているところが良いと思います。

26	急に行かせたい時でも放課GO→では、受け入れてくれる点。
27	規律正しい感じが良い。
28	高学年になっても参加できる”茶道教室”があるので、月に1,2日は、放課GO→へ参加できます。
29	高学年になり、なかなか行く機会も減ったのですが、「やきゅうの道」を楽しみにしています。
30	校庭でのびのびと遊べる場所。
31	校庭や体育館が利用できるのも良いです。
32	校内なので、移動についての心配ごとがないところ。
33	校門まででなく、ポイントまで送ってくれるところ。
34	こちらの手落ちから、子どもの様子（いいことも、悪いことも含め）まで、お電話や出席カード、直接学校に出向いた際に、先生方どなたも丁寧にコミュニケーションを取ってくださるところ。
35	子どもが学校より外に出ることなく、授業後、放課GO→に行けるので安心です。
36	子どもが楽しく行っているようで、とても良い場所だと思います。
37	子どもが楽しんで参加していること、長期休暇中も気軽に行かれること。
38	子ども達が楽しいと思える環境作りがあり、感謝しております。もう少し、外遊び時間があればと思いますが、現状難しいのでしょうか…。
39	子ども達が楽しく遊んでいる。
40	子どもには、してはいけないこと、守ることなど、厳しく言ってくれるところもありがたいです。
41	子どもに無理のない頻度、レベルのイベントが適切に組まれていること。
42	子どもの個性を把握し、適切に声掛けを行ってくれている。他と比べようがないですが、概ね満足している。
43	子どもの個性を理解して、様子がおかしいと感じる時には、保護者に声掛けしてくれます。なかなかできないことだと思います。常日頃感謝しています。
44	子どもはとても楽しく過ごしているようで、毎日でも行きたがります。同級生や他学年と仲良くなりました。
45	子どもはとても楽しそうに行っています。
46	子ども一人ひとりに対しての声掛けがあり、優しいと感じる。
47	こまかなこともきちんと連絡して、いただいている。
48	細やかな配慮がある。
49	これから、企画にも参加してみたいと思います。
50	これから、夏休みに入り、学校のプールの後、お弁当を食べ、学校でお友達と過ごせることはとても素晴らしい環境であり、親としてとても、安心して預けることができます。
51	最初にまず宿題をやってから、遊ばせてくれるので助かります。他学年との交流のおかげで、お友達が増えたようで、とても喜んでます。放課GO→だよ。というと、とても喜んで行っています。

52	茶道のお稽古にお友達と参加できるのが楽しみの様です。日舞とかのお稽古もはじめてみたらどうですか？お友達となら参加するかも？！
53	時間をきっちり守ってくれる。
54	児童にも保護者にも親身になって、接して下さるところ。
55	自分たちのやりたいことに合わせて、やらせてくれるのは、良い所だと思います。
56	集団の中でのルールを丁寧（時に厳しく？）に指導した上で、子どもが楽しく安全に過ごせる時間、場所を提供して下さっているところ。
57	宿題の声掛けをきちんとしてくれている。
58	宿題への声掛けが素晴らしい。学童は、絶対に宿題nigatena子が放課GO→では、必ずやってきます。
59	出席カードを忘れるとちゃんと電話で確認をくれる。
60	将棋や茶道など、色々なイベントを行ってくれているところが良いです。
61	職員が細部にわたり目をかけて、子ども達が楽しく過ごせるよう努力されている。
62	職員が若くて、イキイキしています。
63	職員の方が子ども達をよく見てくださり、安心できる中で、イベントなど様々な交流を行うことができるところ。
64	職員の方の対応がとても良い。1人1人の性格をきちんと把握して、対処されている。
65	職員の先生達が、子ども達の名前を覚えて、声掛けして下さるようで、子どもはそれがうれしいようです。
66	職員の皆さんは、とてもよく面倒を見てくれていると思います。叱るべき時はきちんと叱ってくれるので、安心してお任せできます。
67	スタッフがたくさんいて目が行き届いている感じがします。
68	スタッフの方々がとても親切です。
69	スタッフの方の対応が丁寧で、保護者や子どもをファーストに考えてくれる。
70	先生が遊んでくれること。
71	先生方が子どもにとっても明るく接して下さっているところが良いです。
72	先生方が子どもや保護者に積極的に話しかけてくれる。
73	先生方が親身になって、宿題を見てくださったり、子ども達と仲良く遊んで下さっているところ。
74	先生方が全力で遊んで下さっている様子がうかがえて、親以外の大人と本音で向き合えるところが良いと思います。
75	先生方がとても気さくで明るい方ばかりで、挨拶も気持ち良くして下さいます。また、楽しんで運営に携わっている様子がよく解ります。
76	先生方がとても気さくに接してくれる。それでいて、メリハリのある対応を取ってくれる。
77	先生方がとても親切で、細やかに見ていただける。
78	先生方がとても親切です。

79	先生方がとてもやさしく、子どもも安心して放課後の時間を過ごせていると思います。
80	先生方がとても優しく話しやすいので、子どもも安心して心から楽しんでいます。
81	先生方はいつも明るく、元気で対応して下さいます。
82	先生が丁寧に対応して下さいます。会って話をする時だけでなく、電話の対応も親切です。
83	先生がやさしい。
84	先生達が元気で明るく、子ども達と遊んでくれる。
85	先生の日も届きやすそう。
86	先生一人ひとり個性や特技を生かしてプログラムを組まれているので、子どもがわからない時や困った時には、丁寧な指導や解決策を提案して下さっているようです。
87	相談しやすく、気軽にいろいろ話せます。
88	外遊びもできて、一日の過ごし方が工夫されていること！
89	他の学年の子どもと一緒に遊ぶ機会があり、低学年の友人ができた所が良いと思います。また、将棋を覚えて来たのにも驚きました。
90	楽しいイベントがたくさんある。
91	小さなことでも連絡をくれるので、安心できる。
92	違うクラス、違う学年のお友達と一緒に遊んだり活動できる場であるところ。
93	父の日や母の日のプレゼントを作ってくれる。
94	月に色々なイベントを行っているところ。
95	手厚いプログラムにより、子どもを安心して通わせることができます。
96	定期的なイベントもあり、楽しいです。
97	当日でも見てもらえるから、助かります。
98	当日申出で対応していただけるところ。
99	とても助かる施設なので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。
100	トラブルもきちんと対応していただきました。
101	長くいる先生方もいて、子どものことをよく分かってくれていて、安心できます。
102	入室時間、退出時間etc、こまめに連絡をいただきとても助かっています。
103	働いている、いないに関係なく、幅広いお友達と遊べること。工作等、学童にはない楽しいイベントがある。(父の日、等)
104	ひとつの部屋で実施しているので、グループが分かれてしまうことがなさそう。
105	ひとりひとりをよく見てくださっています。ありがとうございます。

106	変更も連絡時には、快く対応してくださり、子どもにも必ず伝えていただき、助かります。
107	放課後や長期のお休みの時に、慣れた学校という環境で安全に過ごすことが出来るところが良いです。見守ってくださる先生方がいらっしゃることも良いです。
108	他と比べられませんが、遊びを強制されないようで、好きなことを毎日やっているようですが、親としては、それで良いと思います。
109	保護者への報告や子どもの近況を伝えてくれ、様子がよくわかる。
110	毎月いろいろなイベントをやっており、工夫がされていて感心します。
111	民間の学童と併用できること。（居場所作り）
112	無料で学校終了後そのまま、参加できるところ。
113	融通がきいて、子どもを預かっていただけるところ。
114	利用時でのトラブル等もきちんと対応してくださり、事後報告も丁寧に連絡いただくので、家庭内でも子どもと話がわかりやすいです。知らない、ということがあまり無いと思っています。（友達とのケンカや言い合いなど）
115	利用は大型のお休みに限らせていただいております。その中でも、通年でいらっしゃるお子さんと分け隔てなく接してくださり、本当に感謝しております。
116	留守番がまだ心配の子にとって、帰宅時間の調整の場になっているところ。
117	若くてかわいいお姉さんが多く、子どもはとても親しみを持っています。
118	悪いことをした時は、子どもとじっくり話し合い、良い所はたくさんその場で褒める対応がされている。
119	放課GO→で将棋を覚えてから好きで習いに行くようになりました。
120	放課GO→みたに行ってから、自分で行く日、時間を決めて、楽しく過ごさせていただいています。



ご意見ご要望

1	利用したのはほんの数回です。普段通っている学童と比較して、窮屈、先生方が怒ってばかりというような印象が強いです。
2	18時～19時までにしてほしいです。17時過ぎですと、おやつが出ると嬉しいです。有料でも構いません。
3	1年生にも、お茶会や（茶道）、囲碁なども放課GO→でチャレンジする機会があると良いなと思います。
4	3:45お帰りの枠があるといいなと思います。
5	4年になって、あまり参加することが少なくなりましたが、イベントの時は楽しく参加させてもらっています。これからも様々なイベントの企画していただけたら嬉しいです。
6	下校時間が遅くなったため、参加したいプログラムがあっても、30分しかできないということで、利用しなくなってしまいました。なかなか難しいと思いますが、18時まで利用できたら、思うこともあります。
7	挨拶も良くて、明るい人達（先生）が多いと感じています。
8	いつもありがとうございます。
9	いつもありがとうございます。
10	いつもありがとうございます。子どもが楽しみにしていて、なかなか行けないのですが、今後とも利用したいです。できれば、入学式もみていただけるとありがたいです。
11	いつもお世話になっており、ありがとうございます。楽しく参加しておりますが、低学年向けに何かイベント的なものがあると嬉しいです。これからもよろしくお願いいたします。
12	いつも手厚く世話をいただきき、感謝しています。パートタイムでの勤務ですと子どもを預ける場所がなく、本当に助かっています。
13	いつもトイレの限界ギリギリ（漏らす寸前）で、帰ってきます。放課GO→でトイレに行きにくいのではないかと思います。どうなのでしょう。
14	異年齢の子ども達との交流があるのは、非常によいことだと思いますが、年上の子ども達が下の子ども達を面倒見たり、遊んであげることに時間を取られると、退屈したり、思いきり遊べないといった不満も生じやすい。子ども達それぞれが満足して遊べるように工夫してほしいと思う。
15	いろいろな経験がたくさんできると思います。（作ったり、勉強になったり）
16	学童期（1～4年くらい）思春期入口（5,6年）の活動の場を区別する時間があると、高学年の子も行きやすいのではないかと思います。10才くらいになると活動内容が、幼いと感じるようで行きたがらなくなったので…。
17	学校の先生は生徒のことを”〇〇さん”や”〇〇ちゃん”や”〇〇くん”と呼んでいて、呼び捨てなどにしないと言っているのに、放課GO→の先生は、子ども達を呼び捨てにしてるところが気になる。
18	基本的に大変満足ですが、18時くらいまでやっていただければいいなと思います。（夏休みは、8:30位から）イベントにダンスetcありますが、スポーツ系がもっとあってもいいかなと思います。
19	高学年向けの企画、イベント等もう少し増やしてほしい。
20	高学年も遊べるものが少ないと言っております。
21	校庭で遊べる時間がもっと長いと子どもはもっと参加するようになると思います。

22	国際の授業で英語に関心が出て来たようです。英語を使うイベントがあると良いなあと思います。御田小では、土曜は利用できませんが、仕事の時に利用できるとありがたいです。
23	子ども、個人個人の様子がもう少しわかると嬉しいです。友達との付き合い、何をしたかが、子どもから聞いても分かりづらい点もあるので、先生方から、教えていただけるとありがたいです。
24	子どもが安心して遊べる場所があることを感謝しています。
25	子どもが友達が利用していないからと理由で、なかなか行きたがりません。ただ、上の子は、大変お世話になり、スタッフの方々の対応は本当に素晴らしいと感じております。下の子もいつもお世話になるか分かりませんが、親としてはぜひ利用してほしいと思っています。
26	茶道を2年生も体験したい。
27	素晴らしい先生方だと思います。放課GO→で教えていただいたことを家でもたくさん話せており、いつも楽しみにしています。
28	先生方が大変感じよく、時々お会いした際には、利用頻度が少ない我が子の様子を詳しく話してくださいませ。安心して、利用することができ、感謝しています。
29	先生方がとても気を配って接して下さるところが良いです。
30	外遊びなど、体を動かせる時間がもう少し長いとさらにありがたく思います。
31	外遊びの時間をもっと増やしてくれるといいと思います。
32	注意される、言葉がきついと言っている。勉強中にテーブルと頭が近い時、2回目の注意で「〇年生なんだかちゃんとしなさいよ。同じこと言わせないでよ」とみんなの前で言われるのがとても恥ずかしいと言っている。他のテーブルでもいつも口調が強く、1年生にも強い口調でかわいそうと…。他の先生もその先生には何も言えなそう…だと。怖い雰囲気だと、体調不良でも伝えづらいと言うので、その部分は心配だなと感じています。
33	長期休暇の時は、学校の登校時刻と同じ8:15から預かってほしい。
34	低学年のうち、毎日通っていましたが、段々と学年が上がるにつれて、通わなくなってきました。子どもに理由を尋ねると「遊びつくした」とのこと。学校内で過ごすので、新鮮味が感じられなくなるのかもしれないね…。
35	できれば、預かり時間を延長していただき、6時までにして下さると助かります。
36	問い合わせに対して、いつも丁寧に対応していただき、ありがとうございます。
37	特にありません。いつも感謝しています。ありがとうございます。
38	特にありませんが、強いていうなら、中抜け不可と終わりがもう少し遅いと助かるとは、思います。
39	土地柄、子どもの人数が増えてきているので、スペースに余裕があるといいなと思うことがありますが、学校の教室も目一杯なので、難しいでしょうか…？
40	なかなか難しいかもしれませんが、17:00以降の延長保育があると助かります。（引越す前の区では、保育園延長と同じく19:30まで開いていました。）17:00以降預けられないから、利用しにくいという声も周りから聞こえています。
41	夏休みなどの休暇中の開室がもう30分でもいいので、早いと助かります。
42	夏休みもあるので、仕事の時も凄く助かります。
43	日頃から子どもに対し、親身に温かく接していただき、ありがとうございます。

44	普段の活動に関しては、適切に子どものペースに合ったものができるのは良いなと思います。あとはマンガを読むのは良いのですが、低学年のうち、本を読む習慣をつけさせたいと、親は思っていると思います。
45	毎月、少ない回数しか参加していませんが、子どもはいつも大変楽しみにしており、充実した時間を過ごせているようです。ありがとうございます。
46	毎日でも放課GO→に参加したいようです。毎回放課GO→で皆さんと遊ぶのを楽しみにして参加しております。
47	息子は月一回の野球をととても楽しみにし、実際楽しんでいます。可能であれば、もう少し回数が増えると嬉しいです。
48	申込そびれてしまったりするのが、残念です。
49	もう少し、外遊びなど、体を思いっきり動かすようなプログラムが充実していたら良いなと思います。
50	屋内ばかり、遊びがちなので、校庭で遊べる機会や時間が増えるとうれしいです。
51	連絡事項など、こまめに連絡をいただき助かっております。ありがとうございます。
52	我が家は18:00頃のお迎えとなる為、放課GO→の利用は、ほとんどありません。そのため、実状はよく分かりません。
53	放課GO→クラブに移行されることを希望しています。
54	放課GO→の職員さんは、若い方が多く、お兄さん、お姉さんとして、良く指導してくださっていると思います。難しいかもしれませんが、子育て経験者が入ってくれたら、保護者ももっと相談しやすいかもしれないと感じています。
55	放課GO→歴3年目ということで、通常プログラムやイベントに興味が薄れてきていて、「どうせ、またあれでしょ」「飽きたからやらない」と参加日が減ってしまっています。同じことを繰り返す大切さがイマイチ理解できない子どもには、やや退屈に感じることもある様なので、全く新しいプログラムやイベント企画で利用動機が新たに生まれるといいなと思います。

## 放課GO→みた 小学生アンケート集計結果

学年									
全体	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答	n	
100.0	31.1	21.3	21.3	8.2	11.5	6.6	0.0	122	
122	38	26	26	10	14	8	0		

問1 放課GO→には楽しく行くことができますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	86.9	3.3	8.2	1.6		122
122	106	4	10	2	0	

問2 放課GO→の中では、のびのびと過ごせますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	78.7	10.7	9.8	0.8		122
122	96	13	12	1	0	

問3 放課GO→の中でゆっくりする場所がありますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	54.9	20.5	22.1	2.5		122
122	67	25	27	3	0	

問4 利用している時に熱を出したりケガをしてしまった時には先生が家に連絡をとって対応してくれますか？

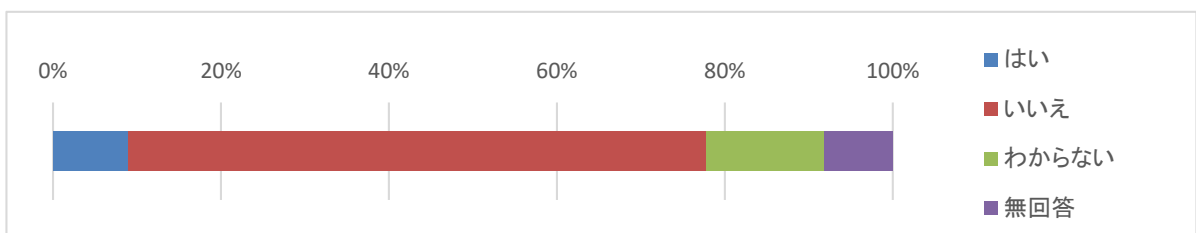
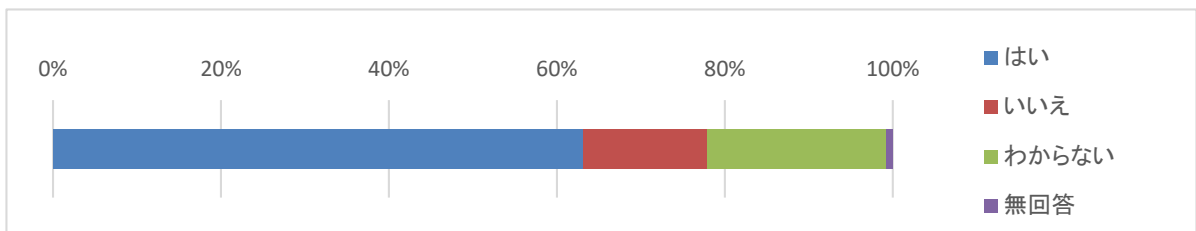
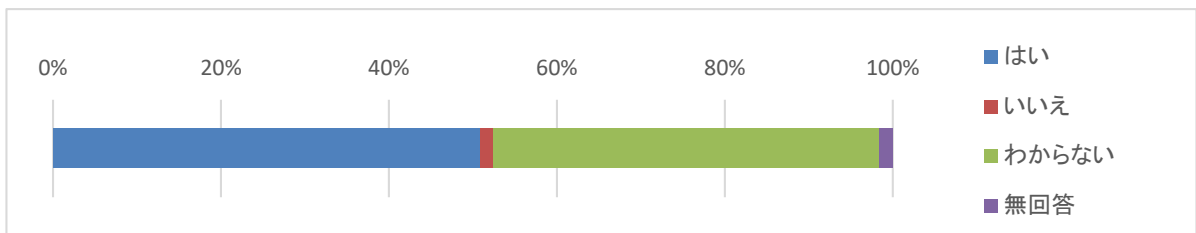
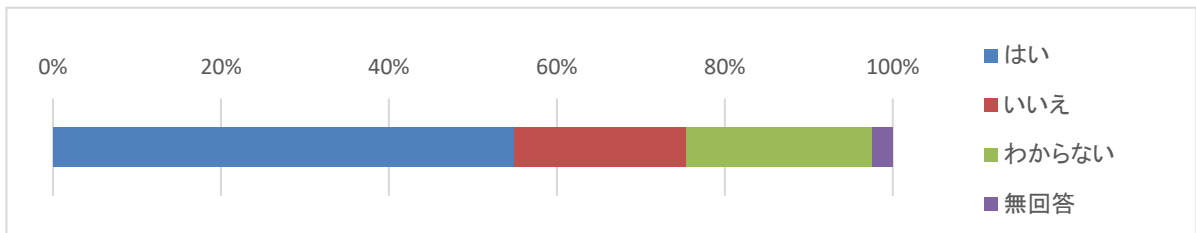
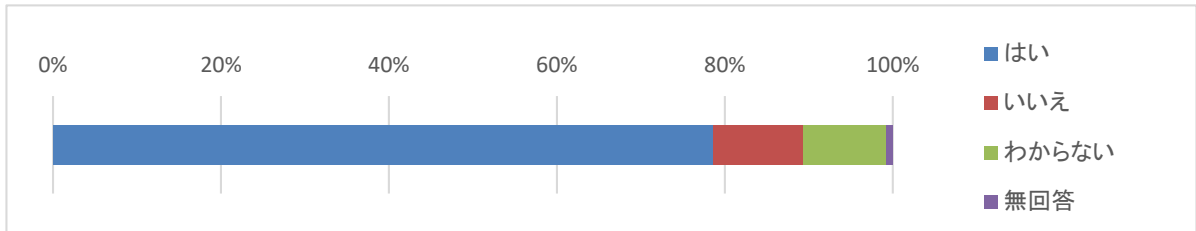
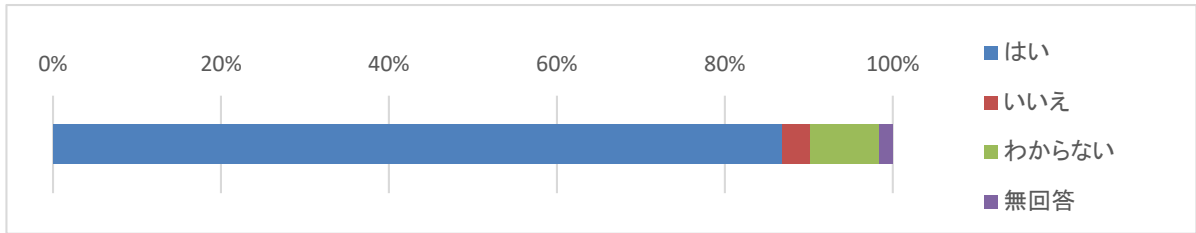
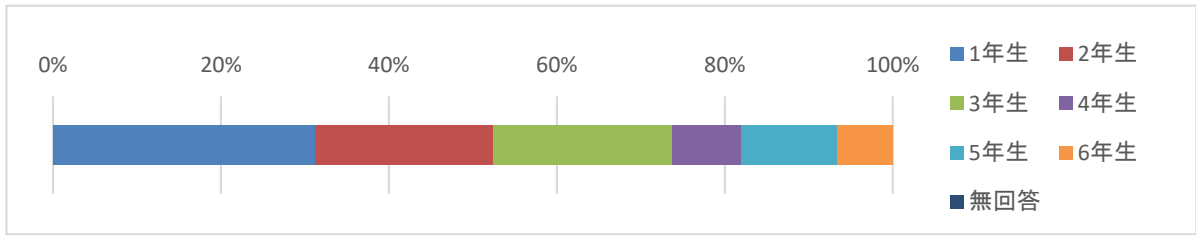
全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	50.8	1.6	45.9	1.6		122
122	62	2	56	2	0	

問5 台風、地震、火災が起きた時は、どのように避難するかなど、先生から聞いていますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	63.1	14.8	21.3	0.8		122
122	77	18	26	1	0	

問6 放課GO→で危ないと感じる場所がありますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	9.0	68.9	13.9	8.2		122
122	11	84	17	10	0	



問7 先生には気軽に話をしたり、相談したりすることができますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	63.9	13.1	14.8	8.2		122
122	78	16	18	10	0	

問8 利用する時に、先生が遊びやクラブ活動などの内容についてわかりやすく説明してくれますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	73.8	3.3	14.8	8.2		122
122	90	4	18	10	0	

問9 あまり元気がないときや、気分がすぐれないとき、先生が声をかけてくれますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	56.6	5.7	29.5	8.2		122
122	69	7	36	10	0	

問10 ともだちと仲良く遊べるように、先生は声をかけてくれたり、一緒に遊ぼうと言ってくれますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	65.6	9.0	17.2	8.2		122
122	80	11	21	10	0	

問11 地域の人がボランティアで来てくれたり、外での活動の時に、地域の人と一緒に活動する機会はありますか？

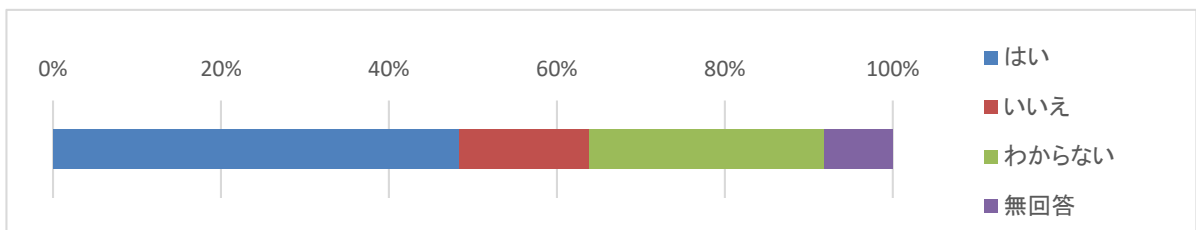
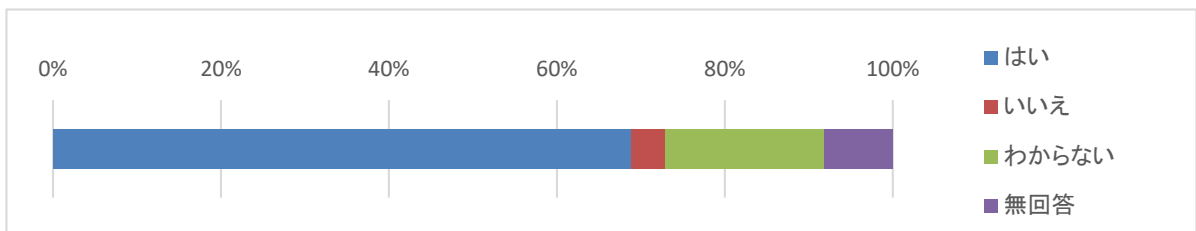
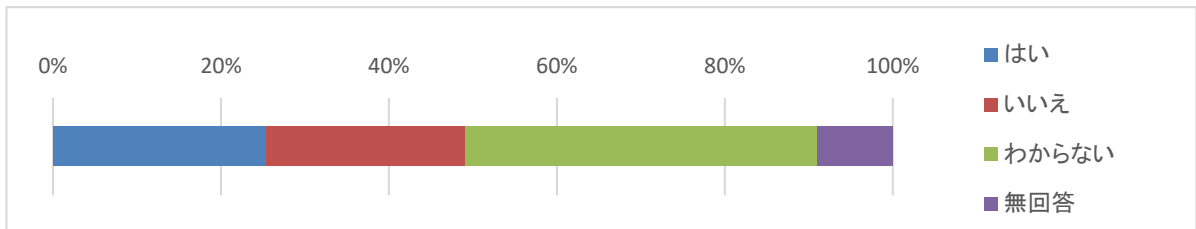
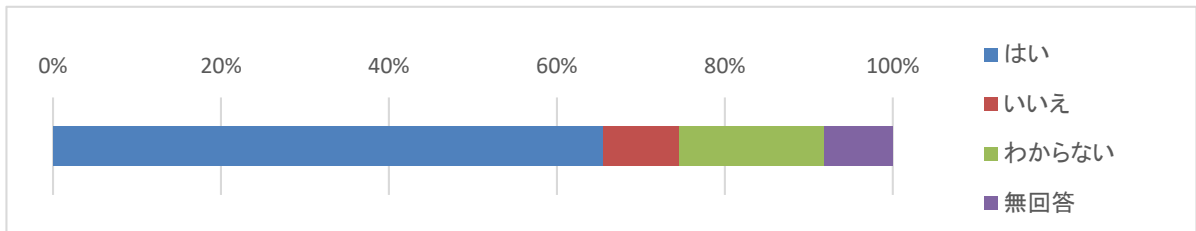
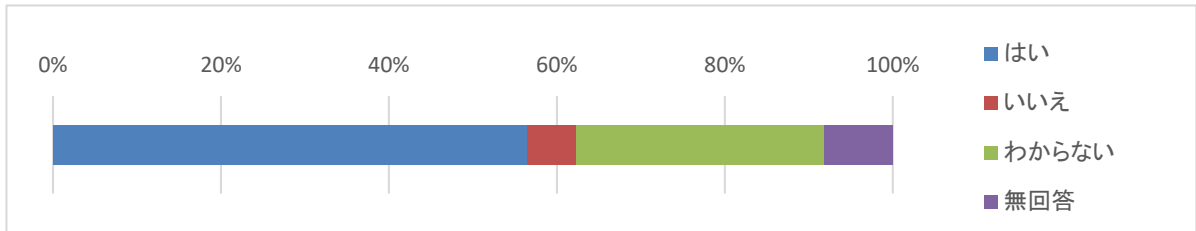
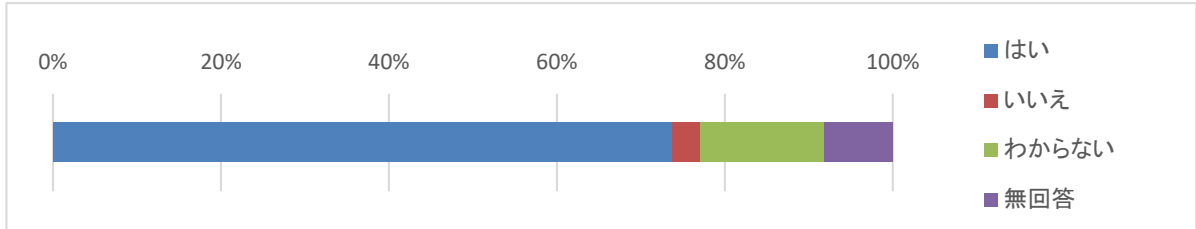
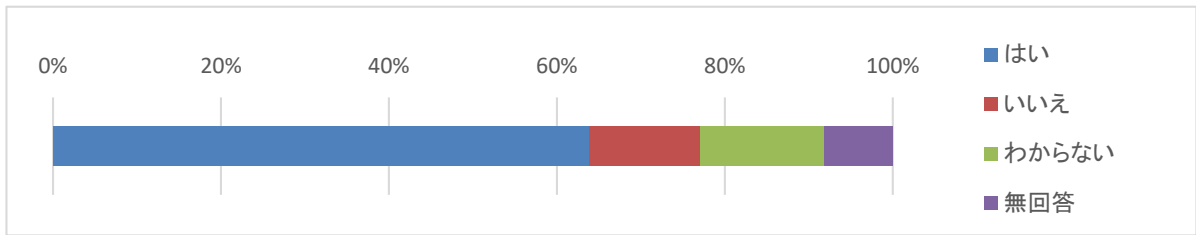
全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	25.4	23.8	41.8	9.0		122
122	31	29	51	11	0	

問12 あなたが何かをしたいと言ったとき、先生はそのことについて話を聞いてくれますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	68.9	4.1	18.9	8.2		122
122	84	5	23	10	0	

問13 あなたは、先生に自分の気持ちや考えを言いやすいですか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	48.4	15.6	27.9	8.2		122
122	59	19	34	10	0	



問14 お願いごとや知りたいことに対して、できないことは、どうしてできないのか先生は説明してくれますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	53.3	9.0	29.5	8.2		122
122	65	11	36	10	0	

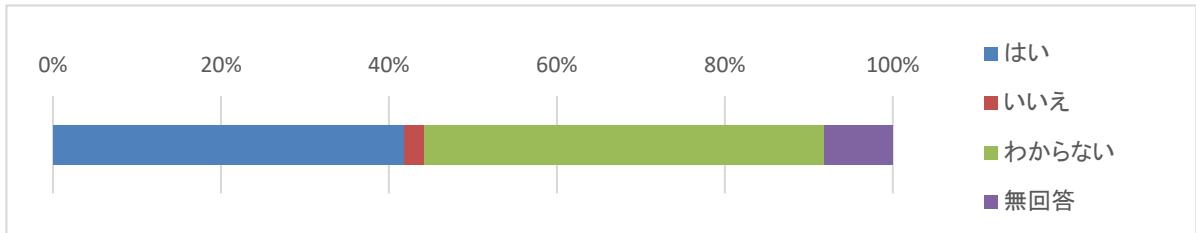
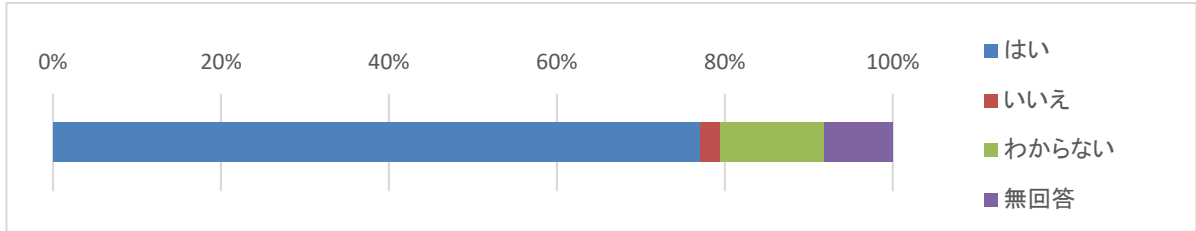
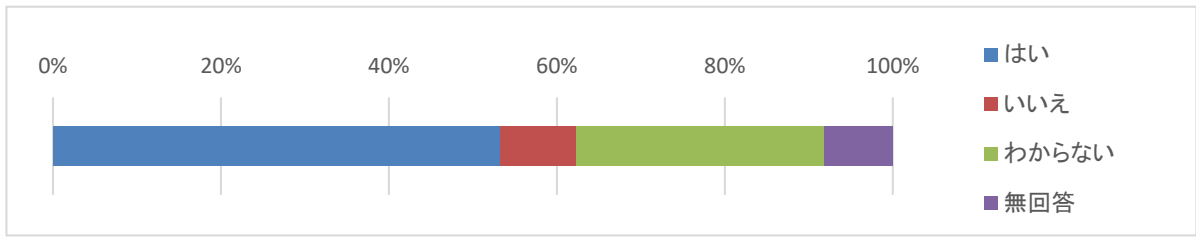
問15 放課GO→でやってはいけないことについて、先生はなぜいけないのか説明をしてくれますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	77.0	2.5	12.3	8.2		122
122	94	3	15	10	0	

問16 先生は他の人に知られたくないことや内緒の話などの秘密を守ってくれますか？

全体	はい	いいえ	わからない	無回答	非該当	n
100.0	41.8	2.5	47.5	8.2		122
122	51	3	58	10	0	





自由意見	
1	「外遊びをもっと長くしてほしい」と思う。
2	LEGOもっと増やしてほしい。
3	遊ぶとき楽しいと思っています。
4	遊ぶものを増やしてほしい。
5	新しい本を置いてほしい。もう少しおもちゃ（オセロ、トランプなど）を増やしてほしい。
6	いつもありがとうございます。
7	いつも楽しくて、のんびり過ごせます。
8	帰る時の歩くスピードをもう少し速くしてほしい。帰る時、シーンとなった時、しゃべってほしい。
9	校庭遊びを自由にしてほしい。
10	校庭遊びを増やしてほしい。Q6で入ってはいけない場所があり、そこは定規とかPLがあるから、危ないと思うと話していました。
11	校庭のルールを少し優しくしてほしい。→遊びの制限をしないでほしい。（例・今日は一輪車とサッカーだけとか）自由になりたい。マンガをたくさん出してほしい。2、3年前から急に厳しくなった。先生が怖い。
12	子どもの意見で相手がどんな考えで行動したなどをしっかりと聞き、優しく注意してほしい。「一年生だから優しく教える。」「六年生だから優しくしない。」などの差別は止めてほしい。
13	自分がわからないことが多すぎる。
14	先生達がとても話を分かりやすくしてくれるから、何をしたいか分かる。
15	先生の机に、なぜ入れないのだろう。
16	外遊びを増やしてほしい。宿題の時間を増やしてほしい。
17	たのしいです。
18	たのしいよ。
19	どうして、ヨーヨーがないのか。
20	どうしておやつがないの？マンガで（名探偵コナン）どうして続いていない番号なの？
21	どうして畳をたくさん使っていけないんですか？
22	なんで、放課GO→では、宿題が先なんだろう。もっと放課GOで遊びたい。
23	ぬりえで出てきた絵を違う月にもう一回出してほしい。折り紙を一日貰える枚数を4枚にしてほしい。
24	ぬりえの種類を増やしてほしい。
25	プールで遊べたらいい。

26	放課GO→が大好きです。先生のことも大好きです。
27	放課GO→で、どうしておやつを食べてはいけないの？
28	放課GO→は楽しい。
29	放課GO→はもっと遊ぶものを増やした方がいいと思います。例えば、シルバニアファミリーのグッズを増やすとかをされるといいと思います。理由は、低学年の子が今年が多いからです。
30	他の友達とも遊んでみたいと思う。
31	もう少し早い時間から外遊びを始めてほしいです。
32	もしもおもちゃが壊れたら、壊れてしまったおもちゃの事を紙に書くか、お話の時に言ってほしい。
33	もっとイベントなどを増やしてほしい。もっと先生を増やしてほしい。
34	もっと風通しをよくしてほしい。
35	もっと静かに勉強しやすい環境にしてほしい。
36	もっと自由にしたいです。
37	もっと先生をやさしくしてほしい。
38	もっと外で遊ぶ時間がほしいです。
39	もっとたくさんイベントを作ってほしい。
40	もっと広い所で遊びたい。
41	もっと本をいっぱい置いてほしいです。
42	もっとマンガを増やしてほしい。
43	レゴ何かを作る。外参加をしたい。ぬりえ、妖怪ウォッチの絵を書く。
44	ローラーは、どうしてできないのか。家から持ってきたマンガはどうして読めるのか。外で遊ぶ時、走る時もっと走りたい。5~7週したい。外遊びの時、野球がやりたい時自分のバット、グローブを持って行きたい。
45	私は、折り紙の折り方や宿題のやり方をやさしく教えてくれるから、うれしいです。

## 放課GO→みた 職員自己評価集計結果

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
<b>評価対象 I サービスの基本方針と組織</b>			
I-1 理念・方針			
I-1-(1) 理念、方針が確立されている。			
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	理念が文書（事業計画等の内文書や広報誌、パンフレット等）に記載されている。	4	2
	理念から、実施する活動の内容や特性を踏まえた使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	5	
I-1-(1)-② 理念に基づく方針が明文化されている。	方針が文書（事業計画等の内文書や広報誌、パンフレット等）に記載されている。	5	2
	方針は、理念との整合性が確保されている。	4	
	方針は、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	4	
I-1-(2) 理念や方針が周知されている。			
I-1-(2)-① 理念や方針が職員に周知されている。	理念や方針を会議や研修において説明している。	4	2
	理念や方針の周知を目的とした実践テーマを設定して会議等で討議の上で実行している。	3	
	理念や方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	4	
	目指す姿とその実現のために大切にすべき視点を全職員が（明確に）把握している。	4	
I-1-(2)-② 理念や方針が利用者等に周知されている。	理念や方針をわかりやすく説明した資料を作成する、より理解しやすいような工夫を行っている。	3	4
	理念や方針を運営委員会や利用者の組織、地域で児童の健全育成にかかわる活動を行っている組織、地域の自治会等で資料をもとに説明している。	3	
	理念や方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	3	

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
I-2 計画の策定			
I-2-(1) 計画が適切に策定されている。			
I-2-(1)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。	3	4
	一連の過程が一部の職員だけで行われていない。	1	
I-2-(1)-② 事業計画が職員に周知されている。	事業計画を職員会議や研修において説明している。	2	4
	事業計画をわかりやすく説明した資料を作成する等によって、より理解しやすいような工夫を行っている。	3	
	事業計画の進捗状況を確認し、継続的な取組を行っている。	3	
I-2-(1)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	利用者あるいは家族向けに事業各計画をわかりやすく説明した資料を作成する等によって、より理解しやすいような工夫を行っている。	4	2
	各計画を利用者に資料をもとに説明している。	5	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ			
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	管理者は、自らの役割と責任について、文書化するとともに、会議や研修において表明している。	5	2
	管理者は、自らの役割と責任について、組織の広報紙等に掲載して表明している。	3	
	管理者は、自らが果たすべき役割と責任について、その妥当性を常に検証している。	4	
	管理者は、自らの行動が職員や保護者等から信頼を得ているかどうかを把握、評価・見直しをするための方法を持っている。	4	
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	管理者は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	4	2
	管理者は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、リスト化する等の取組を行っている。	4	
	管理者は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	3	

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	管理者は、実施する活動の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	4	1
	管理者は、活動の質の向上について、職員の意見を取り入れるための具体的な取組を行っている。	5	
	管理者は、活動の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	6	
	管理者は、活動の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	5	
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	管理者は、経営や業務の効率化と改善に向けて、人事、労務、財務等の面から分析を行っている。	2	2
	管理者は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	4	
	管理者は、上記について、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	3	
	管理者は、経営や業務の効率化や改善のために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	3	
<b>評価対象Ⅱ 組織の運営管理</b>			
Ⅱ-1 経営状況の把握			
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握している。	3	4
	行政の担当部署と情報の交換を行い、施策の動向や地域ニーズを常に把握している。	3	
	次世代育成支援対策推進法や少子化対策関連の行政施策等の動向を把握している。	2	
	周辺小中学校の地域環境や児童数の推移等を把握し、児童福祉サービス全体に関するニーズを把握するための方法を持っている。	3	
	把握された情報やデータが、年度の事業計画に反映されている。	3	
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	施設規模・職員数と利用者の関係についての分析を行い、事業規模に見合った適切な利用者を確保する取組が行われている。	1	4
	定期的にコスト分析や利用者の推移、利用率等の分析を行っている。	2	
	経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	3	

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
II-2 人材の確保・養成			
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方や、人事管理に関する方針が確立している。	3	3
	有資格職員の配置等、必要な人材や人員体制について具体的なプランがある。	3	
	プランに基づいた人事管理が実施されている。	2	
II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	人事考課の目的や効果を正しく理解している。	4	3
	考課基準を職員に明確に示すことや、結果の職員へのフィードバック等の具体的な方策によって客観性や透明性の確保が図られている。	4	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータ、疾病状況を定期的にチェックしている。	3	2
	把握した職員の意向・意見や就業状況チェックの結果を、分析・検討する担当者や担当部署等を設置している。	3	
	分析した結果について、改善策を検討する仕組みがある。	3	
	改善策については、人材や人員体制に関する具体的なプランに反映し実行している。	2	
	定期的に職員との個別面接の機会を設ける等、職員が相談をしやすいような組織内の工夫をしている。	3	
	希望があれば職員が相談できるように、カウンセラーや専門家と連携している。	3	
II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	職員の福利厚生が適切に行われている。	3	4
	職員の希望の聴取等をもとに、福利厚生センターへの加入等、総合的な福利厚生事業を実施している。	2	

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	組織が目指す放課GO→の活動を実施するために、方針等に、組織が職員に求める基本的姿勢や意識を明示している。	4	3
	現在実施している放課GO→の活動の内容や目標を踏まえて、方針等に、組織が職員に求める専門技術や専門資格を明示している。	3	
II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	職員一人ひとりについて、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されている。	3	2
	個別の職員の技術水準、知識、専門資格の必要性などを把握している。	4	
	教育・研修が、実際に策定された計画に基づいて実施されている。	5	
II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	研修を終了した職員は、報告レポートを作成している。	5	1
	研修を終了した職員が、研修内容を発表する機会を設けている。	5	
	報告レポートや発表、当該職員の研修後の業務等によって、研修成果に関する評価・分析を行っている。	3	
	評価・分析された結果を次の研修計画に反映している。	3	
	評価・分析された結果に基づいて、研修内容やカリキュラムの見直しを行っている。	4	
II-3 安全管理			
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。			
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	管理者は利用者の安全確保の取組について、リーダーシップを発揮している。	5	1
	利用者の安全確保に関する担当者・担当部署を設置している。	3	
	担当者等を中心にして、定期的に安全確保に関する検討会を開催している。	3	
	検討会には、現場の職員が参加している。	3	
	リスクの種類別に、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	2	
	事故発生対応マニュアル等を作成し職員に周知している。	3	
	緊急時における連絡先（児童の保護者等）が把握されている。	6	



職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
Ⅱ-3-(1)-② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。	4	
	災害時の対応体制が決められている。	6	
	利用者及び職員の安否確認の方法が決められ、全職員に周知されている。	3	
	食料や備品類などの備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	5	
	地元の消防署、警察、自治会などと連携するなど工夫して訓練を実施している。	4	
Ⅱ-3-(1)-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	利用者の安全を脅かす事例の収集を、その仕組みを整備した上で実施している。	5	2
	収集した事例について、職員の参画のもとで発生要因を分析し、未然防止策を検討している。	4	
	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	4	
	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	3	
	事故防止のためのチェックリストがあり活用している。	2	
Ⅱ-4 地域との交流と連携			
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	地域組織・団体・住民との関係を良好に保っている。	5	2
	地域とのかかわり方について基本的な考え方を明文化している。	2	
	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で利用者に提供している。	4	
	地域の児童健全育成に関する行事や活動に、必要があれば職員やボランティアが援助を行う体制が整っている。	3	
	理解を得るために、地域の人々と利用者との交流の機会を定期的に設けている。	4	
	母親クラブをはじめ、民生委員・児童委員や学校・PTA、自治会等の地域組織・団体等と連携した取組を行っている。	4	
	利用者の保護者同士の交流の機会を設けている。	4	

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
Ⅱ-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	当該地域の関係機関・団体について、住所録等のリストや資料を作成している。	3	4
	職員会議で説明する等職員間で情報の共有化が図られている。	2	
評価対象Ⅲ 適切なサービスの実施			
Ⅲ-1 利用者本位のサービス			
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	利用者を尊重した活動に関する基本姿勢が、個々のサービスの標準的な実施方法等に反映されている。	4	1
	利用者尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。	2	
	身体拘束や虐待防止について職員に周知徹底している。	3	
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	利用者のプライバシー保護について、規程・マニュアル等の整備や、施設・設備面での工夫等、組織として具体的に取り組んでいる。	7	4
	利用者のプライバシー保護に関する基本的知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・意識、利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。	4	
	規程・マニュアル等に基づいた活動が実施されている。	4	
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。			
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	利用者の意向に配慮する調査を定期的に行っている。	4	2
	利用者の意向に配慮する目的で、利用者への個別の相談面接や聴取、利用者懇談会・保護者会、運営委員会等を定期的に行っている。	5	
	利用者の意向に関する調査の担当者・担当部署の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。	2	
	分析・検討の結果に基づいて具体的な改善を行っている。	4	

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	利用者が、複数の相談方法や相談相手の中から自由に選べることを、わかりやすく説明した文書を作成している。	1	1
	利用者に、その文書を配付したり、わかりやすい場所に掲示したりしている。	4	
	相談や意見を述べやすいようなスペースづくりに配慮している。	4	
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置）を整備している。	3	3
	苦情解決の仕組みを説明した資料を利用者に配布、説明しているとともに、わかりやすく説明した掲示物を掲示している。	3	
	苦情の正確な把握に努め、誠実に対応している。	2	
	利用者に対して苦情記入カードの配布や匿名アンケート実施など利用者や家族が苦情を申し出やすい工夫を行っている。	3	
	苦情を受け付けて解決を図った記録が適切に保管されている。	1	
	苦情への検討内容や対応策を記録し、利用者に必ずフィードバックしている。	1	
	苦情を申し出た利用者に配慮した上で、苦情内容及び解決結果等を公表している。	1	
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	意見や提案を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について規定したマニュアルを整備している。	2	1
	対応マニュアルに沿った取組がなされており、意見や提案のあった利用者に対して、検討に時間がかかる場合でも状況を速やかに報告している。	2	
	対応マニュアルの定期的な見直しを行っている。	2	
	苦情や意見等を放課GO→の活動の改善に反映している。	5	

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
Ⅲ-2 サービスの質の確保			
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。			
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	定例の会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設け、活動の質の向上や改善のための取組を行っている。	5	1
	定められた評価基準に基づいて、年に1回以上自己評価を行っている。	5	
	評価に関する担当者・担当部署が設置されている。	4	
	評価結果を分析・検討する場が、組織として定められ実行されている。	4	
	活動に対する評価が適切に行われている。	3	
Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	職員の参画により評価結果の分析を行っている。	2	2
	分析した結果やそれに基づく課題が文書化されている。	1	
	職員間で課題の共有化が図られている。	5	
	評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善実施計画を策定する仕組みがある。	2	
	改善策や改善実施計画の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて計画の見直しを行っている。	2	
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	3	2
	標準的な実施方法には、利用者の個性の尊重やプライバシー保護の姿勢が明示されている。	5	
	標準的な実施方法に基づいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	4	
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	活動の標準的な実施方法の見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。	2	3
	見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	3	

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	活動の記録（日誌、行事等の記録）がつけられている。	6	1
	利用者の全般的な状況や特徴的な事例についての記録がある。	5	
	利用児童の中で個別に援助する必要のある児童についての記録がある。	6	
	一人ひとり把握する必要のある活動に関しては、利用者一人ひとりの記録等の書面が整備されている。	4	
	「必要に応じ保護者と連絡を取る」場合の記録がある。	4	
	実施計画に基づくサービスが実施されていることを記録により確認することができる。	4	
	記録する職員ごとに記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導などの工夫をしている。	4	
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	記録管理の責任者が設置されている。	5	1
	利用者の記録の保管、保存、廃棄に関する規程等を定めている。	4	
	利用児童の保護者から情報の開示を求められた場合の対応に関する規程を定めている。	2	
	記録の管理について個人情報保護と情報開示の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	3	
	職員は個人情報保護法を理解し、遵守している。	6	
	守秘義務の遵守を職員に周知している。	6	
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	組織における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	3	3
	情報共有を目的として、検討会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	4	

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
Ⅲ-3 サービスの開始・継続			
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対して活動の選択に必要な情報を提供している。	インターネットを利用して、事業所を紹介したホームページを作成し公開している。	4	
	理念や活動内容を紹介した資料を、公共施設等多数の人が手にすることができる場所に置いている。	3	
	紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等でだれにでもわかるような内容にしている。	5	
	見学、体験利用等の希望に対応している。	6	
	利用児童の保護者が求める、児童・子育てに関する情報の収集と提供が適切に行われている。	6	
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	利用の案内、利用に際しての決まり、活動の紹介等がわかりやすく表示され、伝えられている。	6	
	説明にあたっては、利用者が理解しやすいように工夫や配慮を行っている。	6	
	資料の内容は、利用者にわかりやすいように工夫している。	4	
Ⅲ-4 活動実施計画の策定			
Ⅲ-4-(1) 利用者に対する活動実施計画が策定されている。			
Ⅲ-4-(1)-① 活動実施計画を適切に策定している。	活動計画策定の責任者を設置している。	5	2
	活動計画を策定するための部門を横断した関係職員の合議が行われており、利用者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて計画を策定している。	3	
	活動計画どおりに行われていることを確認する仕組みが構築されるとともに、機能している。	4	
Ⅲ-4-(1)-② 定期的に活動実施計画の評価・見直しを行っている。	活動計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、及び利用者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	3	2
	見直しによって変更した活動計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	3	
	活動計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	3	

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
<b>A 活動に関する事項</b>			
A-1 遊びの環境整備			
A-1 遊びの環境整備			
A-1-① 遊ぶ際に守るべき事項（きまり）が、利用者に理解できるように決められている。	利用者が遊ぶ際に守るべき事項（きまり）がわかりやすいものになっている。	7	
	利用者が遊ぶ際に守るべき事項（きまり）が見やすい場所に掲示されている。	5	
	利用者が遊ぶ際に守るべき事項（きまり）を納得し、受入れている。	6	
	遊ぶ際に守るべき事項（きまり）を定期的に見直す機会がもうけられている。	6	
A-1-② 利用者が自発的かつ創造的に活動できるように環境を整備している。	広さにかかわらず、スペースや遊具が利用者の発想で自由に活用できるように工夫されている。	5	1
	利用者が自由に使えるスペースや遊具が、使いやすく安全に配慮されている。	6	
A-1-③ くつろいだり、休憩したりするふれあいスペースを作っている。	特定の使用目的に限定されないリラックスして過ごせるスペースがある。	4	2
	実際に利用者が、待ち合わせスペース等でくつろいでいたり相互に交流したりしている様子が伺える。	5	
A-2 保護者への対応			
A-2-① 保護者同士が交流する機会が設けられており、保護者が企画や運営に参加している。	保護者と職員とが協働で行う活動がある。	5	2
A-3 児童への対応（核となる活動）			
A-3-① 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している。	一人で来ている児童への援助が適切に行われている。	6	
	遊びの場面で起こるけんかやトラブル、羽目をはずす行為などへの対応が、気持ちを荒れさせることなく児童たちの成長につながるように適切に行われている。	7	
	児童への対応について、個々の事例に関する検討が職員間で行われている。	6	
	職員がより適切な対応ができるようなスキルアップにむけた研修等が実施されている。	4	

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
A-3-② 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている。	職員が個別・集団援助技術を学習し実際に活用している。	4	1
	職員は、個々の児童の仲間集団とのかかわりについて具体的に把握しており、そのグループの成長とその中で個々の児童の成長の過程を意識してかかわっている。	5	
	職員間で、児童の集団的援助の取組や、他児とのかかわりでトラブルが多い、遊びが続かないなどの課題を持った児童への対応について事例検討をし、記録している。	6	
A-3-③ 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取組が行われている。	国籍の異なる児童が利用する放課GO→では、その児童と保護者に対して、円滑な利用ができるような案内や説明が行われている。	6	
	障害のある児童が他の児童と遊びや活動と一緒に参加できるように、配慮や工夫がされている。	6	
	職員は、児童が、障害の有無や国籍の違いを超えて思いやりを育み学びあいができるように働きかけている。	6	
A-3-④ 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている。	行事が日常活動とのバランス（実施回数や利用者数）を考慮して企画されている。	6	
	行事が、普段放課GO→を利用していない児童の利用につながるように工夫されている。	4	
	職員の企画による活動やクラブ活動等の取組がある。	5	
	行事やクラブ活動を行う際に児童の自主性・主体性を育てることを心がけている。	6	
A-4 利用者からの相談への対応			
A-4-① 利用者からの相談への対応が自然な形で行われている。	利用者からの相談への対応や情報提供が日常的に行われている。	7	
	利用者からの相談への対応が適切に行われ、必要に応じて記録されている。	5	
	保護者に対して、子育てについての知識を学ぶ機会や相談窓口が設けられている。	2	
	相談内容によっては、保健センターや児童相談所等の関係機関を紹介している。	2	
A-4-② 虐待を受けた児童や不登校児への支援体制が整っている。	職員は、虐待されている児童の発見や、発見後の対処についてのスキルを身につけている。	4	1
	被虐待児が発見された場合の児童相談所への連絡をはじめとする関係機関との連携が確立されている。	4	
	発見された被虐待児への支援が適切に行われている。	4	



職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
A-5 障害児への対応			
A-5-① 障害のある児童の利用に対する支援策が整っている。	障害のある児童の利用とその支援策について、職員の意志統一が図られている。	6	
	障害のある児童に対して適切な支援が行われている。	6	
	障害への理解と支援のスキル等について、職員への研修や、ケースカンファレンス（事例検討会）が行われている。	4	
	発達障害児の利用に対応する支援策が整っている。	3	
	障害のない児童との交流遊びができるよう、職員が働きかけている。	6	
A-6 地域の子育て環境づくり			
A-6-① 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している。	子育て支援活動や健全育成活動を行う地域組織・団体・住民を把握し、連絡を取り合っている。	3	4
	子育て支援活動や健全育成活動を行う地域組織・団体・住民との協力関係がある。	3	
	子育て支援活動や健全育成活動を行う地域の自主活動を支援している。	2	
	子育て支援活動や健全育成活動を行う住民や地域組織の利用がある。	2	
	運営委員会が組織されており、定期的を開催されている。	1	
	運営委員会が実際に機能している。	1	
A-6-② 地域社会で児童が安全に過ごせるような取組をしている。	クラブに来る時や帰宅時の経路の安全について、安全確保のための方針を作成している。	6	1
	クラブに来る時や帰宅時の経路の安全について、児童の保護者や地域の人々、団体の協力を得て、取組を進めている。	4	

職員回収数：7票		職員自己評価	
評価基準項目	評価の着眼点（チェック項目例）	○	わからない
A-7 広報活動			
A-7-① 広報活動が適切に行われている。	広報活動が定期的に行われている。	3	3
	施設独自の広報用チラシを作成し、活用している。	3	
	利用対象児童のいる地域の学校全体に向けた広報活動が行われている。	3	
	「お便り（定期的な活動案内）」が、地域の関係者や関係機関・団体に配布されている。	4	
	自治体や健全育成団体と連携した広報活動を行っている。	3	
	個人情報保護やプライバシー、肖像権等に配慮した広報活動を行っている。	4	
	地方新聞や自治体の広報誌等を積極的に活用している。	3	
A-7-② 活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるように創意ある広報活動が行われている。	広報の内容と視点（ねらい）が明確にされている。	3	2
	児童や保護者に分かりやすく興味の持てるように工夫されている。	5	
	活動の実際が的確に表現されている。	5	
	広報の内容に児童と保護者や、関連する機関・団体の声が反映されている。	2	

よいところ	
1	明日もまた来たくなるよう、常に努力している。
2	遊びの際、異学年交流が盛んなところ。
3	異学年で遊べるような遊びを提案、紹介している。
4	季節ごとのイベントを行っている。
5	子ども1人1人の成長や特徴をチーム内で、話し合い、共有できるところ。
6	子ども達が求めてくる事に対し、出来る限り応じている。
7	指導員が子ども目線で楽しめる様日々の活動やイベントを行っている。
8	職員同士が仲が良い。
9	それぞれの得意なことが生かせる。
10	ひとり、ひとりに対して丁寧に対応しているところ。
11	メリハリのある環境。

改善が必要だと思うところ	
1	安定した職員の配置が必要。
2	高学年の参加人数が減っているので、改善策やアイデアを出していきたい。
3	施設内のおもちゃやゲーム等が、新しく、また増えたら良いと思います。
4	指導員が口うるさい事を減らし子どもがのびのび過ごせる環境にしたい。
5	指導員間で指導、けじめ、注意に差があるときがある。
6	もう少し視野を広げたい。

その他、日頃思う点があれば記入してください。	
1	安全第一ではあるが、「あれはダメ」「これはダメ」と規則が多く、自由や経験する機会を奪ってしまうことに、繋がってしまう気がします。多少のケガや痛みは、危険等を学ぶ人生での重要な機会であり、自制心を養えるものだと思います。ただ子ども達の身に何か起きてしまってからでは、遅く許されるものではないこともあり、規則を自由との両極で自分のなかで葛藤を抱えています。
2	子ども達が日々楽しく仲良く過ごす事を願うのであれば、まず、大人同士の関係がそうであるべきと思いますが、私の目から見て、明確な嫌悪関係を感じます。弱い立場の職員は、自分らしさも良さも発揮できず、そのことは、子ども達の心に伝わってしまい、結果として、子ども達の環境も良いものとはいえないものになっていくのではないのでしょうか。
3	低学年に比べ高学年の人数が少ないので、高学年の居場所にもなれればと思います。
4	特になし。

## 評価細目の第三者評価結果

### 評価対象 I 活動の方針と組織

判 断 基 準 項 目	評価結果
I-1 理念・方針	
I-1-(1) 理念、方針が確立されている。	
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
I-1-(1)-② 理念に基づく方針が明文化されている。	a
I-1-(2) 理念や方針が周知されている。	
I-1-(2)-① 理念や方針が職員に周知されている。	a
I-1-(2)-② 理念や方針が利用者等に周知されている。	b
評価機関コメント	
<p><u>理念や方針については、港区の事業目的と会社の理念・方針を踏まえ定められています</u></p> <p>港区の本事業の目的である「児童が学習、スポーツ、遊びなどの活動を行い、児童の自主性、社会性及び創造性を養う」こと、会社の企業理念である「保育・健康・躰」を踏まえ、放課GO→みたの理念を「指導・健康・躰」と定めています。この理念のもと、放課GO→みたで実施される活動では、『体験』『交流』『体づくり』の3つのテーマを掲げています。 これらを実現するために、様々な分野（伝統文化・スポーツ等）のイベントを企画しています。</p>	
<p><u>会社の理念・方針は、ミーティングや研修等を通じ、職員へ周知されています</u></p> <p>会社の理念・方針は、毎年本部で年度初めに実施されている研修の中で必ず触れられており、職員への周知が図られています。放課GO→みたの方針やテーマは放課GO→室へ掲示しており、毎年5月に実施している新年度に向けたミーティング等を通じて職員へ周知しています。 また、上記テーマの中のうち特に重視している『体験』について、イベントや日常の活動の中で頻繁に実現していることから、効果的に周知できています。</p>	
<p><u>保護者等への周知も行われていますが、改善の余地があります</u></p> <p>理念や方針等の保護者への周知は、放課GO→利用開始時の説明会、年2回実施される保護者会、ホームページや放課GO→室への掲示を通じて実施しています。 より多くの保護者へ周知するために、学校行事と同日に保護者会を開催し参加を促しています。今後は、協議会での報告内容の概要版を作成し配布・説明するなど、放課GO→への理解をさらに深める取組が望まれます。</p>	

判 断 基 準 項 目		評価結果
I-2 事業計画の策定		
I-2-(1) 事業計画が適切に策定されている。		
I-2-(1)-①	事業計画の策定が組織的に行われている。	a
I-2-(1)-②	事業計画が職員に周知されている。	b
I-2-(1)-③	事業計画が利用者等に周知されている。	b
評価機関コメント		
<p><u>事業計画は本部と現場の話し合いのもと策定されています</u></p> <p>事業計画は、本部のマネージャー等と現場の職員で実施する定例ミーティングにおいて案を作成しています。作成された事業計画案は、前年度の3月に決定しており、協議会で関係者（PTA・地域・学校等）へ報告しています。また、現場の状況や社会情勢を踏まえ定期的に事業計画を見直しており、必要に応じて改訂する体制を整えています。</p>		
<p><u>事業計画の周知等については課題があります</u></p> <p>現場への周知について、正規職員へは事業計画に関する資料を配付しそれをもとに十分に説明しています。臨時職員やサポーターへは説明のみが主となっておりますが、放課GO→室内に「情報共有棚」を設け資料事業計画等の資料を保管し、閲覧可能にするなどの対応がとられています。今後は、臨時職員やサポーターの理解がより深まるよう、正規職員と同様に説明することが望まれます。</p> <p>一般の保護者への周知について、「放課GO→みただより」が主となっておりますが、「放課GO→みただより」は毎月の予定やイベント等の情報がほとんどのため、事業計画等を周知する手段としては十分でないのが現状です。今後は、協議会での報告内容の概要版を作成し、説明の機会を設定するなどの取組が望まれます。</p>		

判 断 基 準 項 目	評価結果
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	b
評価機関コメント	
<p><u>施設長やサブリーダーの役割は、実際の行動を通じて職員と共有しています</u></p> <p>施設長やサブリーダーは、緊急時やトラブル等の発生時にどのような対応が必要かを素早く判断し、各職員へ役割を割り振るほか、区や本部等の関係機関へ迅速に「報告・連絡・相談」ができています。</p> <p>また、毎年区が実施している利用者調査の結果を熟読し子どもや保護者の要望等を取り入れられるよう、イベント等の内容を他職員へ積極的に提案しています。</p> <p>これらの役割を業務分掌などの形で明文化すると、責任者としての意識がより高まることが期待できます。</p>	
<p><u>現場職員間の情報共有・助言や、本部での研修・面談を通じ、職員の資質向上を図っています</u></p> <p>年度ごとの個人目標に対する達成状況を人事考課の際の面談で評価し、職員一人ひとりに課題を設定することで、職員の資質向上を図っています。</p> <p>また、経験年数や資格取得状況によって外部の研修に参加する機会を設定することで、個々のレベルに応じたスキルアップを図っています。</p> <p>日々のミーティングでは、その日に起きたトラブル等と職員の対応を共有し、改善点や継続すべき点等を記録することで、職員同士での助言や意見交換を行っています。</p>	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅱ-1 経営状況の把握		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
評価機関コメント		
<p><u>事業環境の情報は、身近な公表資料を中心に収集されています</u></p> <p>本部は、区の広報紙、学校案内や社会福祉事業等の公募状況等を情報収集することで子どもを取り巻く環境を把握し、事業計画に反映しています。  また、地域の状況をよく知るサポーターから地域の情報を収集し事業計画に反映することで、地域性を生かした事業を実現しています。  国や区の政策等を把握し分析しておりますが、今後はその結果を速やかに事業計画等に反映できる体制を整えることが望まれます。</p>		
<p><u>アンケート等を通じて把握した利用者ニーズに応じることで、参加者増を図っています</u></p> <p>通常活動日とイベント開催日の参加人数をグラフ化し子どもの動向を分析しています。各イベントで参加人数を比較することで子どもの興味・関心を分析し、ニーズに合わせたイベントを企画しています。  また、区が実施する利用者アンケートからは保護者のご意見、現場に設置している「アンケートボックス」からは子どもたちの参加したいイベントを把握し取り入れることで、利用者増につなげています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
II-2 人材の確保・養成		
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
II-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
II-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	b
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b
評価機関コメント		
<p><u>職員の評価は、考課シートを用いて基準を明らかにした上で行われています</u></p> <p>職員の評価は、目標設定と5項目5段階の基準からなる考課シートを使用しています。このシートは、上司からの評価だけでなく、自己評価項目もあります。上司からの評価と自己評価を用いて面談することで、自己評価を客観的に見直すことができます。 また、自己評価を取り入れることで評価基準の内容を理解でき、本部が求める人材を認識できます。</p>		
<p><u>職員の就業意向の把握に努めるとともに、働きやすい環境整備に取り組まれています</u></p> <p>常勤職員は、人事評価の際に実施される年2回の面談ほか、エリアマネージャーやスーパーバイザーとの定期的な意見交換を実施することで、就業状況や意向を把握しています。また、年1回、次年度に向けた職員の意向調査を実施することで職員一人ひとりの異動希望等を把握し、次年度の運営体制を決定しています。 非常勤職員は、年1回の面談通じて就業状況や意向を把握しています。 本部には匿名で相談可能な窓口を設置しており、産業医による相談体制が整備されています。</p>		
<p><u>研修は、「現場第一主義」という基本姿勢のもと取り組まれています</u></p> <p>エリアマネージャーとともに年間事業計画を策定し、それを基に年間の研修を計画しています。本部主催の研修には現場の意見が取り入れられており、現場が必要としているスキルを学べる機会が設定されています。 また、外部での研修には経験年数やスキルごとに参加でき、職員一人ひとりがレベルに応じて成長できる体制です。 研修を受講した職員が講師となり現場へフィードバックする機会を設けているので、他職員の学ぶ機会となります。また、講師役の職員は指導力を磨く機会となるほか、受講した研修内容の復習、知識の定着につながります。</p>		



判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅱ-3 安全管理		
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		
Ⅱ-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）などにおける利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
Ⅱ-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a
Ⅱ-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b
評価機関コメント		
<p><u>各種マニュアルが整備されるとともに必要な研修や訓練が実施されています</u></p> <p>災害時、事故防止、感染症予防などのマニュアルが備わっており、定期的に見直し、必要に応じて更新・修正されています。</p> <p>職員は本部での危機管理研修を受講しているほか、消防署主催の応急救護講習会や警察署主催の防犯講習会等の実践研修へも参加しており、緊急時対応に備えています。また、学校や地域の避難訓練・防災訓練等に参加することで、緊急時に連携できる関係づくりに努めています。特に避難訓練では、施設長不在時の対応等様々な状況を想定して実施しているため、効果的です。さらに、子どもたちも参加しており、子どもたち自身で身を守るよう訓練しています。</p>		
<p><u>子どもたちの安全確保のための情報収集やチェックが行われています</u></p> <p>本部から現場へ事故や事件の情報を随時提供しているほか、港区の緊急配信メールにも登録し、現場付近で発生した事件・事故を確実に把握しています。不審者情報が入った際には送りポイントを延長・変更しています。</p> <p>また、校庭遊びや体育館遊びの前には危険個所を確認し、子どもたちに危険個所に近づかないよう注意喚起するほか、危険個所付近に職員を配置し子どもたちの怪我や事故を防止しています。</p> <p>今後は、ヒヤリハットの事例を本部で集計・分析し、事件・事故防止対策をより強化していくことが望まれます。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅱ-4 地域との交流と連携		
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ-4-(1)-①	利用者地域とのかかわりを大切にしている。	a
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a
評価機関コメント		
<p><u>地域住民やPTA等を通じて地域との交流が行われています</u></p> <p>区民まつりやふれあいまつりでダンスを披露したり、PTA主催のお祭りに参加したりすることで、地域やPTA等と交流しています。</p> <p>また、社会福祉協議会主催の「はがきボランティア」に参加し、地域の一人暮らしの高齢者へ送ったり、高齢者施設に訪問したりすることで、地域の高齢者との交流を図っています。</p> <p>地域との交流は、災害、犯罪、事故等の際に連携できる関係づくりにつながり、非常に重要であることから、このような取組は高く評価できます。</p>		
<p><u>地域の関係機関等が把握され、迅速に連携できる体制が整えられています</u></p> <p>区や学校だけでなく、近隣の児童館や高齢者施設等との交流もあり、毎月発行している「放課GO→みただより」を送付することで情報提供をしています。区や学校では、その他施設に「放課GO→みただより」を配布・掲示しています。現場では、地域の情報を得るために区刊行物やイベントのチラシ等を積極的に収集しています。</p> <p>また、地域の関連機関の連絡先をリスト化し、全職員が把握できるよう掲示しています。</p>		

評価対象Ⅲ 適切なサービスの実施

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-1 利用者本位のサービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a
評価機関コメント		
<p><u>利用者の意向を把握し、サービス向上につなげています</u></p> <p>区が毎年実施する利用者アンケートの結果を現場でさらに分析し、日頃のプログラムやイベントの要望や意見を取り入れています。協議会では分析結果を報告し協議会委員からの意見を伺うことで、様々な視点から改善案を検討しています。</p> <p>また、日頃から子どもの提案等を受け付けており、プログラムやイベントに反映するなど、子どもたちのニーズに合わせた企画・検討をすることで、利用者増につなげています。</p> <p>その他、保護者会での意見交換、個別の面談等も利用者の意向を把握する機会と捉え、運営に生かしています。</p>		
<p><u>意見を言いやすい雰囲気と体制づくりに努めています</u></p> <p>日頃の子どもたちとのコミュニケーションや「アンケートボックス」から子どもたちの意見を把握しています。</p> <p>また、保護者からの相談を受けた際は個別に面談を設定したり電話連絡したりするなど、積極的に要望や意見を受け入れる体制を整えています。受け付けた要望や意見は、必要に応じて区や本部へ報告し協議することで、解決・改善に努めています。</p>		
<p><u>子どもに合わせたコミュニケーションを取るよう意識しています</u></p> <p>話し方等の研修に参加するだけでなく、日頃から子どもの様子を観察し、一人ひとりに合わせた接し方やコミュニケーションになるよう意識しています。</p> <p>また、本部が作成した「NG用語集」等のマニュアルも活用しています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-2 サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a
評価機関コメント		
<p><u>施設長や本部職員が職員のサービスを定期的に評価し、質の向上につなげています</u></p> <p>本部が作成する自己評価シートにより、各々が提供するサービスを評価しています。入社1年目は年に数回、2年目以降は2回以上の自己評価を行い、非常勤職員は簡易版で定期的に自己評価をしています。シート記入後には施設長と本部職員が面接を実施しており、本部は施設長を通じて職員からの提案や意見を把握しています。把握した提案や意見は、本部や施設長による検討を経て、必要に応じて、マニュアルや事業計画、行事計画等に反映させています。</p> <p>職員の提案や意見には、本部や施設長が気づかない危険や課題等があるため、安全・安心なサービスの提供につながります。</p>		
<p><u>標準的なサービス手順を定め、定期的に見直しています</u></p> <p>職員が業務内容を把握するため、各種マニュアルを備えています。マニュアルには、職員によってサービスの質に差が生じないように、受付、見送り、保護者との連絡や活動場所等についての確認事項、要点がまとめられています。</p> <p>ミーティングや日誌の振り返りにより過去の対応やイベント等を見直し、子どもや保護者のニーズに合わせて随時改善・変更しています。</p> <p>協議会を業務の検証時期と位置付けており、利用者からの提案を取り入れ見送りポイントを変更した例があります。</p>		
<p><u>活動及び利用者に関する記録を作成・管理し、職員間で共有しています</u></p> <p>区への月次報告では、「業務日誌」「プログラム実施計画書」等を提出しており、提出前に必ず本部でも確認・共有しています。併せて、職員体制、子どもの様子やミーティング内容等を報告し、今後の対応等を区と協議しています。</p> <p>また、個人情報等は全て鍵のかかる棚で保管しており、使用时以外は施錠しています。登録書類等は退会・更新時に廃棄しているほか、職員は個人情報保護法の勉強会や研修に参加するなど、個人情報は厳重な管理を徹底しています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
評価機関コメント		
<p><u>利用希望者に情報を提供しています</u></p> <p>区が作成している利用案内を利用希望者へ配布し、登録方法、活動内容、長期休業中の利用や帰宅について説明しています。活動の見学を受け付けており、利用希望者は見学後に登録の有無を決定できます。</p> <p>毎月発行している「放課GO→みただより」には、その月の予定やイベント等の情報を掲載しており、全児童へ配布することで子どもたちの参加を促しています。</p> <p>また、高学年を対象にしたイベントを開催することで、高学年の参加人数の増加に努めています。</p>		
<p><u>利用開始にあたって説明し同意を得ています</u></p> <p>登録時に、食物アレルギーの有無や運動制限を確認し、クッキングイベントやスポーツイベントの参加方法や職員の対応について説明しています。</p> <p>また、「放課GO→みただより」には活動中の写真を掲載することもあります。「放課GO→みただより」は利用者以外に配布するほか、区のホームページで掲載しているため、保護者へ子どもの写真の掲載についての可否を必ず確認しています。</p>		

判 断 基 準 項 目	評価結果
Ⅲ-4 活動実施計画の策定	
Ⅲ-4-(1) 利用者に対する活動実施計画が策定されている。	
Ⅲ-4-(1)-① 活動実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(1)-② 定期的に活動実施計画の評価・見直しを行っている。	a
評価機関コメント	
<p>活動計画により事業を進めています</p> <p>イベント内容は、利用者アンケート、日頃の要望や意見から収集した利用者ニーズを反映しており、準備段階で職員がイベントを実践し問題点を確認することで、トラブルの防止に努めています。イベント終了後は、参加人数や活動の様子等を記録し区へ報告するほか、ミーティングで改善案等を検討しています。</p> <p>また、イベントの開催場所は、企画段階で学校と協議の上決定しています。当日に使用不可となってしまった場合でも、代替案で対応するなどの態勢を整えています。</p>	
<p>活動計画を評価・見直しています</p> <p>イベント後は、前回の実施結果（実施時期、参加人数等）と比較することで、子どもたちが参加しやすい時期、興味・関心のある分野等を検証しています。</p> <p>また、検証後の改善案を生かし、長期休暇中の散策イベントでは、熱中症や怪我等に迅速に対応するため、近隣の医療機関の情報を事前に調査しています。</p>	

## 活動内容基準

判断基準項目		評価結果
A 活動に関する事項		
A-1 遊びの環境整備		
A-1-①	遊ぶ際に守るべき事項（きまり）が、利用者に理解できるように決められている。	a
A-1-②	利用者が自発的かつ創造的に活動できるように環境を整備している。	a
A-1-③	くつろいだり、休憩したりするふれあいスペースを作っている。	a
A-2 保護者への対応		
A-2-①	保護者同士が交流する機会が設けられており、保護者が企画や運営に参加している。	a
A-3 児童への対応（核となる活動）		
A-3-①	職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している。	a
A-3-②	職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている。	a
A-3-③	障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている。	a
A-3-④	行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている。	a
A-4 利用者からの相談への対応		
A-4-①	利用者からの相談への対応が自然な形で行われている。	a
A-4-②	虐待を受けた児童や不登校児への支援体制が整っている。	a
A-5 障害児への対応		
A-5-①	障害のある児童の利用に対する支援策が整っている。	a
A-6 地域の子育て環境づくり		
A-6-①	住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している。	a
A-6-②	地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている。	a
A-7 広報活動		
A-7-①	広報活動が適切に行われている。	a
A-7-②	活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるように創意ある広報活動が行われている。	a

## 評価機関コメント

### 遊びの環境整備

放課GO→室の前に「放課GO→のめあて」を毎月掲示したり、室内に遊びの決まりを掲示したりすることで、子どもたちがルールを守りながら楽しく遊べる環境を整えています。また、学習タイム後や校庭遊び前等に一日の流れや活動の流れを呼びかけ、ルールの定着化を図っています。

活動の場は限られたスペースですが、マットやテーブル等を置くことで何を活動するスペースなのかを明確にし、子どもたちが判断しやすい環境にしています。

本部では、職員のスキルアップのために「あそびの研修」を実施しています。職員はこの研修を通して、子どもの興味・関心を伸ばす環境づくりや働きかけについて学び、実践しています。

### 児童への対応（核となる活動）

事前アンケートにより、子どもたちがイベントに参加可能な曜日を把握するほか、人気のイベントは定期的で開催するなど、ニーズに合わせて企画しています。また、子どもたちの意見だけでなく、保護者の要望も取り入れることで利用者満足度の向上に努めています。

イベントや教室等の講師は、本部や職員が調べて見つけるだけでなく、サポーターやボランティアセンターから紹介を受けるなど、ネットワークを活用しています。

様々な分野のイベントを開催することで、子どもたちは興味のある分野を選んで参加できるため、子どもたちの自主性・主体性の育成にもつながっています。

### 保護者との関係と相談体制

登録時の面談をはじめ、利用カードの通信欄を利用した保護者との情報交換、長期休暇前の保護者会などにより、保護者とのコミュニケーションを図っています。また、イベントに保護者を招待したり、地域交流活動に子どもと参加する機会を設けたりすることで、放課GO→みだの活動への理解を促すとともに、保護者同士の交流の場にもつなげています。

### 特別な支援が必要な子どもへの対応

特別支援児については、区と十分に協議したうえで受け入れ態勢を整えています。保護者からの任意提出の「生活状況調査書」と照らし合わせ、子どもの活動状況や他の子との関わり方等を記録し、その子に合わせた対応ができています。

また、職員は学校等の関係機関との連絡を密に取り、放課GO→以外での様子も把握するよう努めているほか、発達障害等に関する研修を受けることで、支援方法の見直し・改善を図っています。

### 地域の子育て環境づくり

帰宅のコースごとに送りポイントを定め、サポーターの協力のもと子どもの見送りをしています。また、通学路の道路状況（工事・事故等）を把握し、場合によっては送りを延長しています。

また、継続的な高齢者施設との交流等を通し、地域との関係づくりに取り組んでいます。

### 広報活動

毎月発行している「放課GO→みただより」に、その月の予定やイベント等の情報を掲載することで、子どもたちの参加を促しています。

また、放課GO→みただよりを学校の全児童や区役所等へ配布するほか、高齢者施設との交流、区民まつりでのダンス披露等、放課GO→みだの活動を見える化することで、「放課GO→みだ」をより身近に感じてもらえるような広報活動に取り組んでいます。



